

令和5年度 事業報告書

自：令和 5年 4月 1日

至：令和 6年 3月31日



社会福祉法人 西海市社会福祉協議会

総括

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、本会内でも感染防止に配慮し事業を平常に戻しつつある1年であった。

法人運営においては、事業を推進する人材の確保が最重要課題であり、法人運営・介護・保育所職員の採用募集を行ったが、退職者数を補うことができず職員減となった。人材確保に関連して西海市福祉施設連絡協議会と協働で人材確保プロジェクト事業説明会を市内福祉事業所向けに実施。dip(株)の面接ロボット・採用ロボットを市内7法人の参加を得て令和6年度スタートに向け体制を整備した。また広報活動では、年度末に社協ガイドブックを完成させた。今後、相談時や事業開催時に活用したい。

地域福祉において、第3期地域福祉活動計画の中核となる地域福祉連絡会は、小地区・少人数で延べ107か所(約3日1回)で開催し、行政区長、民生委員・児童委員、福祉推進員等延べ862人の参加を得て、地域に根ざした活動を展開した。複数の地域では、地域福祉連絡会主体の住民アンケートで地域の生活課題を洗い出し、自分たちができることや集いの場づくり等の取組みを始めている。また福祉教育については体験学習で終わることがないように、学校とも連携して福祉教育プログラムを完成させた。配食事業においては、西海市の受託配食事業で延べ23,410食、本会の独自配食事業で延べ87,724食を作り、通所介護等の食事の提供と在宅利用者の安否確認とバランスの摂れた食事を提供した。

受託事業の生活困窮者自立支援事業においては、家計改善支援事業との調整支援、日常生活自立支援事業や貸付事業との調整、緊急食糧支援などを生活困難者レスキュー事業や市関係機関等との連携により生活に困窮した方の支援に努めた。また生活支援体制整備事業第2層コーディネーター事業では、西海市地域包括支援センターや市民の協力を得て、地域助け合いフォーラムを開催し、その後に地域助け合い勉強会などで理解者を増やしている。

介護保険事業は、社協の経営基盤の中心であるが、昨年にも増して利用者が減少し、居宅介護支援事業を除く訪問介護、通所介護の全事業所で赤字経営となった。訪問介護事業は5事業所を1事業所に統合し、効率化を図ったが、赤字縮小に留まり、通所介護事業は職員の意識改革、自立支援への取組み、事業の効率化等を介護事業経営改善計画に沿って進めているが厳しい状況が続いている。

横瀬保育所においては、定員50人に対し39人の園児でスタートしたが、地域の保育所として保護者から信頼を得て、年度末には46人の児童を受け入れた。地域との交流においても徐々に新型コロナ前の形に戻りつつある。

指定管理事業では、昨年に引き続きパート職員の人件費増、燃料費や物価高騰の影響などもあり、厳しい経営状況が続いている。

収益事業のレンタカー事業は、コロナ5類移行後に利用件数が増加し、前年比184%となり回復している。

最後に、厳しい経営状況の中、人件費増や物価高騰も重なり西海市に要望書を提出し、西海市のご理解のもと社協運営費補助金を増額していただいたことに感謝したい。今後も西海市とのパートナーシップを保ちつつ、地域の民生委員児童委員協議会、行政区長会、各種団体・関係機関等と共に、つながりを絶やさない地域づくりに協働で取り組んでいきたい。

<総括>

◆目次◆	1
I 法人運営	
1. 社会福祉協議会の基盤整備と活動基盤の強化	5
(1) 理事会・評議員会・監査の開催状況	5
(2) 財務運営・管理	10
(3) 自主財源確保に向けた体制づくり	10
① 社協会費及び寄付金状況	10
② クラウドファンディングの取組み	12
(4) リスク管理やコンプライアンスに関する管理体制の整備	13
(5) 計画的な採用・異動・人事考課等の人事管理	14
(6) 研修・能力開発等の計画的な人材育成	14
① WEB研修及び集合研修の実施	14
② 専門分野に応じた研修受講	15
③ 実習生の受入	15
(7) 崎戸社会福祉センターの移転に伴う意見交換会及び住民説明会	15
(8) 災害被災地への職員派遣	15
(9) 所管庁への届出や対外的な法的対応を行う法務に関する業務	15
(10) 労働法制に基づいた労務管理	15
(11) 地域福祉活動委員会と財務委員会の開催	15
(12) BCP(事業継続計画)見直し	16
(13) 情報発信機能の強化	16
① 広報誌の毎月発行	16
② 広報誌広告協賛企業の募集	17
③ ホームページの運営・管理	17
④ フェイスブック等のSNSの運営・管理	18
II 地域福祉活動の推進	
1. 地域福祉活動の充実・促進	18
(1) 第3期西海市地域福祉活動計画の推進・評価	18
(2) 地域福祉連絡会の開催	20
(3) 福祉推進員活動の推進	24
① 福祉推進員への情報提供	24
② 地域の福祉課題の把握	24
③ 見守り活動の強化	24
④ 市福祉推進員連絡協議会及び各地区福祉推進員会の活動支援	24

⑤行政区長・民生委員児童委員との合同研修会	25
(4) ひきこもりの方の把握と支援	25
(5) イベント等用具貸与事業	26
(6) 福祉出前講座の実施	27
(7) 配食事業の推進	28
①西海市地域支援事業、介護予防・日常生活支援総合事業(配食サービス)〈市受託事業〉	28
②西海市障がい者配食サービス事業〈市受託事業〉	28
③社協独自配食サービス事業	29
(8) 交流・ふれあい事業	30
①ふれあい食事サービスの実施(大瀬戸)	30
②居場所・交流・つながり事業の実施	31
③ふれあい給食事業の実施(平島)	37
④高齢者交流会の実施	37
⑤視覚障がい者等との交流会	38
⑥第2回西海市障がい者スポーツ大会	38
⑦崎戸福祉総合講座の開催	38
⑧大島地区福祉ふれあいレクリエーション大会	38
(9) 福祉施設との連携・強化	38
(10) 当事者組織の支援・育成	39
(11) 共同募金会と連携した共同募金・歳末たすけあい運動の推進等	39
①共同募金運動への協力	39
②歳末たすけあい運動への協力	41
③令和5年災害義援金	42
(12) 24時間テレビチャリティー募金への協力	42
①大島ふれあいフェスティバル	43
②花火大会(崎戸・大瀬戸)	43
2. ボランティア・市民ふくし活動の推進	43
(1) ボランティアセンターの機能強化	43
①個人会員の登録	43
②グループ登録制度(令和7年3月まで4カ年計画で実施)	43
③情報発信の強化	43
④ボランティア活動への支援	44
⑤ボランティア学習・活動の実施	44
⑥活動保険加入の促進	44
⑦にこにこコールサービスの実施(大瀬戸地区)	44

⑧食事サービスボランティア研修会(大瀬戸地区).....	44
(2)福祉教育の推進.....	45
①福祉教育の推進.....	45
②プログラム内容の充実.....	45
③ボランティア協力校助成事業の推進.....	45
(3)災害等に備えた取り組み.....	46
①関係機関との相互連絡体制づくり.....	46
②西海市総合防災訓練への参加.....	46
3. 相談支援・権利擁護.....	46
(1)総合相談事業の強化.....	46
(2)西海市生活支援体制整備事業に係る第2層生活支援コーディネーター業務.....	48
(3)西海市高齢者福祉サービス事業調査<市受託事業>.....	50
(4)介護機器相談・貸与事業.....	50
(5)生活困窮者自立相談支援事業<市受託事業>.....	50
(6)生活困窮者家計改善支援事業<市受託事業>.....	50
(7)緊急食料品支援事業の実施.....	51
(8)生計困難者レスキュー事業との連携、対応.....	52
(9)生活福祉資金等貸付事業<県社協受託事業>.....	52
(10)市福祉資金貸付事業.....	54
(11)日常生活自立支援事業の推進<県社協受託事業>.....	55
(12)成年後見制度への取り組み.....	56
4. 生活支援.....	56
(1)子育て環境の整備.....	56
①ファミリー・サポート・センターさいかいの運営<市受託事業>.....	56
②放課後児童健全育成事業(学童保育)の実施.....	57
③地域子育て支援拠点事業の実施.....	58
④チャイルドシート等貸与事業の推進.....	59
(2)生活支援サービスの充実促進.....	59
(3)西海市介護予防・日常生活支援総合事業(通所型サービスA)<市受託事業>.....	59
(4)西海市介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型サービスA)<市受託事業>.....	59
(5)西海市外出支援サービス事業<市受託事業>.....	60
(6)離島地区医療機関送迎サービス事業の実施(崎戸町江島地区).....	60
(7)江島・平島地区住民向け自動車貸出事業の実施.....	60

Ⅲ 横瀬保育所の経営	61
Ⅳ 介護系事業の展開	
1. 介護保険法に基づく事業の実施	62
(1) 居宅介護支援事業(予防居宅介護支援事業)	62
(2) 訪問介護事業(予防介護事業・日常生活支援総合事業訪問介護事業)	62
(3) 通所介護事業(予防介護事業・日常生活支援総合事業通所介護事業)	63
(4) 西海市しまの介護サービス確保事業(大瀬戸)	65
2. 障害者総合支援法に基づく事業の実施	66
(1) 居宅介護事業(ホームヘルプ)【障害者総合支援法】	66
Ⅴ 指定管理事業の健全な経営・推進	67
(1) 西海市西彼保健福祉センター(遊湯館)	67
(2) 西海市立大島児童館	67
(3) 西海市黒口ふれあいの館	68
(4) 西海市中浦すこやかセンター	68
(5) 西海市大島配食センター	68
(6) 西海市江島デイサービスセンター	68
(7) 西海市平島デイサービスセンター	68
(8) 西海市大瀬戸デイサービスセンター	68
(9) 西海市大瀬戸社会福祉センター	68
(10) 西海市西海高齢者生活支援ハウス及び西海市高齢者コミュニティセンター「くろくち荘」	69
(11) 西海市崎戸高齢者生活支援ハウス	69
Ⅵ 収益事業の安定的経営	70
(1) レンタカー事業のPR活動(広報誌・ウェブサイト)	70
(2) 車両(25人乗りマイクロバス・10人乗りワゴン車・車椅子対応自動車)の整備の徹底	70

I 法人運営

1. 社会福祉協議会の基盤整備と活動基盤の強化

(1) 理事会・評議員会の運営及び監査の実施

【役員】任期：令和5年6月27日～令和6年度会計に関する定時評議員会終結時まで

理事 9人・監事 2人

(敬称略)

役職	氏名		選出区分
会長	再任	宮崎 正宏	学識経験者
副会長	再任	北島 淳朗	福祉施設
	再任	西崎 清	学識経験者
理事	新任	百岳 敏晴	福祉推進員
	新任	磯田 篤市	民生委員児童委員
	新任	森 浩三	ボランティア活動を行う団体
	再任	今村 幸江	地域婦人会
	新任	喜浦 健	行政区長
	再任	平尾 満明	行政
監事	新任	北 貞俊	財務識見者
	再任	山口 美恵子	福祉識見者

【評議員】任期：令和3年6月24日～令和6年度会計に関する定時評議員会終結時まで

評議員 12人

(敬称略)

選出区分	氏名		備考
福祉団体	山下純一郎	三岳孝夫	西海市老人クラブ連合会 令和5年7月12日～
	太田 陽幸		西海市身体障害者福祉協会
	岸川 順子		西海市母子寡婦福祉会
	平野直幸	松山一成	西海市手をつなぐ育成会 令和5年7月12日～
	近藤 久仁子		療育を考える会
人権擁護委員	坂本 積		西海市人権擁護委員
保護司	服部 忍		西海地区保護司会
ボランティア団体	谷口 雅樹		環境美化を考える会
シルバー人材センター	辻野 邦彦		西海市シルバー人材センター
青少年育成協議会	佐々木 義信		西海市青少年育成協議会
経済団体	長岡 祐一		NPO法人西海市観光協会
学識経験者	韓 榮芝		長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科

【評議員選任・解任委員】任期：令和2年6月9日～令和5年度会計に関する定時評議員会終結時まで

評議員選任・解任委員 5人

(敬称略)

選出区分	氏名	備考
監事	北 貞俊	※外部委員から監事に変更
	山口 美恵子	
外部委員	岸本 徹也	令和5年6月28日就任
	玉崎 隆司	
事務局員	櫻井 洋観	

【理事会、評議員会の開催】

区分	開催日	出席者及び議案
令和5年 第3回 理事会	6月7日	<p>【理事】宮崎正宏、北島淳朗、山川清美、西崎 清、坂本純敏、 豊福正史、平尾満明 欠席者：今村幸江、福岡昭和 【監事】河野清治、山口美恵子</p>
		<p><議案> ・令和4年度事業報告の承認について ・令和4年度会計収入支出決算の承認について(監事より決算監査報告) ・西海市福祉資金貸付金の欠損処分について ・社会福祉法人西海市社会福祉協議会 職員給与規程の一部改正について ・社会福祉法人西海市社会福祉協議会 契約職員給与規程の一部改正について ・社会福祉法人西海市社会福祉協議会 登録ホームヘルパー就業規則の一部改正について ・社会福祉法人西海市社会福祉協議会 パート職員就業規則の一部改正について ・保育所職員処遇改善手当の支給に関する規程の一部改正について ・理事候補者の選定について ・監事候補者の選定について ・定時評議員会の開催について <報告事項> ・会長の職務執行状況報告について</p>

区分	開催日	出席者及び議案
令和5年 第2回 評議員会 (定時評 議員会)	6月27日	<p>【評議員】岸川順子、近藤久仁子、坂本 積、谷口雅樹、辻野邦彦、 佐々木義信、長岡祐一、韓 榮芝 欠席者：太田陽幸、平野直幸、服部忍、山下純一郎 【理事】宮崎正宏 【監事】河野清治、山口美恵子</p>
		<p><議案> ・令和4年度事業報告の承認について ・令和4年度会計収入支出決算の承認について(監査報告) ・理事の選任について ・監事の選任について</p> <p><報告事項> ・令和5年第1回評議員会において岸川評議員からの質問について ・理事会で議決された事項について ・一般業務報告</p>
令和5年 第4回 理事会	6月28日	<p>【理事】宮崎正宏、北島淳朗、今村幸江、森 浩三、磯田篤市、 百岳敏晴、平尾満明、喜浦 健 欠席者：西崎 清 【監事】北 貞俊、山口美恵子</p>
		<p><協議事項> ・会長、副会長の選定議案における指名について</p> <p><議案> ・会長の選定について ・副会長の選定について ・評議員候補者の補欠選定について ・評議員選任・解任委員の補欠選任について ・評議員選任・解任委員会の開催について</p>

区分	開催日	出席者及び議案
令和5年第5回理事会	11月28日	<p>【理事】宮崎正宏、北島淳朗、今村幸江、森 浩三、磯田篤市、百岳敏晴、西崎 清 欠席者：喜浦 健、平尾満明 【監事】山口美恵子 欠席者：北 貞俊</p> <hr/> <p><議案> ・職場におけるハラスメントの防止に関する規程の一部改正について ・横瀬保育所運営規程の一部改正について <報告事項> ・会長の職務執行状況報告について ・定期（中間）監査報告 ・令和5年度児童福祉施設等指導監査報告（横瀬保育所） ・令和5年度放課後児童健全育成事業指導監査報告（大島学童保育） <協議事項> ・崎戸社会福祉センター（施設）の今後の対応について</p>
令和6年第1回理事会	2月2日	<p>【理事】宮崎正宏、北島淳朗、西崎 清、磯田篤市、百岳敏晴、森 浩三、今村幸江、喜浦 健、平尾満明 【監事】北 貞俊、山口美恵子</p> <hr/> <p><議案> ・令和5年度会計収入支出第1次補正予算について ・評議員会の開催について <報告事項> ・日常生活自立支援事業等市町社協訪問調査の結果について ・令和5年度特定教育・保育施設確認基準等実地指導の結果について ・崎戸社会福祉センターの移転先として市公有財産である旧西海市立蛸浦保育所の借用について（要望書）の回答について</p>

区分	開催日	出席者及び議案
令和6年 第1回 評議員会	2月14日	<p>【評議員】三岳孝夫、太田陽幸、岸川順子、松山一成、佐々木義信、服部 忍、坂本 積、辻野邦彦、長岡祐一 欠席者：谷口雅樹、近藤久仁子、韓 榮芝 【理事】宮崎正宏</p> <hr/> <p><議案> ・令和5年度会計収入支出第1次補正予算について <報告事項> ・理事会で議決された事項及び報告事項 ・日常生活自立支援事業等市町社協訪問調査の結果について ・令和5年度特定教育・保育施設確認基準等実地指導の結果について ・崎戸社会福祉センターの移転先として市公有財産である旧西海市立蛸浦保育所の借用について(要望書)の回答について</p>
令和6年 第2回 理事会	3月6日	<p>【理事】宮崎正宏、北島淳朗、西崎 清、磯田篤市、百岳敏晴、今村幸江、喜浦 健、平尾満明 欠席者：森 浩三 【監事】北 貞俊、山口美恵子</p> <hr/> <p><議案> ・社会福祉法人西海市社会福祉協議会 介護職員処遇改善支援補助金及び福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金の支給に関する規程の制定について ・社会福祉法人西海市社会福祉協議会 職員給与規程の一部改正について ・社会福祉法人西海市社会福祉協議会 契約職員給与規程の一部改正について ・社会福祉法人西海市社会福祉協議会 登録ホームヘルパー就業規則の一部改正について ・社会福祉法人西海市社会福祉協議会 パート職員就業規則の一部改正について ・令和5年度会計収入支出第2次補正予算について ・役員等賠償責任保険契約について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度会計収入支出予算について ・評議員会の開催について</p>

区分	開催日	出席者及び議案
令和6年 第2回 評議員会	3月27日	【評議員】太田陽幸、三岳孝夫、服部 忍、坂本 積、長岡祐一、 谷口雅樹、近藤久仁子、韓 榮芝 欠席者：佐々木義信、岸川順子、辻野邦彦、松山一成 【理事】宮崎正宏
		<議案> ・令和5年度会計収入支出第2次補正予算について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度会計収入支出予算について <報告事項> ・理事会で議決された事項について ・人事異動内示 ・赤い羽根共同募金運動の報告について

【監査】(監事2人)

業務執行状況及び財産状況の監査を行った。

開催日	令和5年5月29日(令和4年度決算監査)
	令和5年11月8日(令和5年度定期監査)
会場	西海総合福祉センター

(2) 財務運営・管理

財務については、毎月試算表の定期的な確認をし、予算が適切に執行されているか確認・管理を行ない、資産運用は、社債と定期預金等に預け管理している。介護保険事業の低迷に伴い事業運営積立金を取り崩しても赤字決算となった。

(3) 自主財源確保に向けた体制づくり

社協だよりやウェブサイトなどに、社会福祉協議会の事業や活動状況を掲載し市民に理解を求め、社協会員の募集を行った。

① 社協会費及び寄付金状況

◆ 会員区分

区分	内容	金額
一般会員	西海市住民会員	500円 / 1口
法人会員	施設、事業所会員	2,000円 / 1口
特別会員	西海市外に居住する会員	1,000円 / 1口
団体会員	福祉団体等	5,000円 / 1口

◆令和5年度社協会費実績(令和6年3月末現在)

種別	一般会費	特別会費	団体会費	法人会費	合計
	件数	件数	件数	件数	
区分	金額	金額	金額	金額	
西彼	1,587件	—	—	58件	1,645件
	803,600円	—	—	327,000円	1,130,600円
西海	1,461件	—	6件	76件	1,543件
	885,573円	—	40,000円	439,000円	1,364,573円
大島	1,044件	—	—	33件	1,077件
	570,645円	—	—	186,000円	756,645円
崎戸	458件	—	—	20件	478件
	245,800円	—	—	69,000円	314,800円
大瀬戸	1,490件	—	—	78件	1,568件
	824,520円	—	—	353,000円	1,177,520円
市外	—	8件	—	31件	39件
	—	13,000円	—	156,000円	169,000円
合計	6,040件	8件	6件	296件	6,350件
	3,330,138円	13,000円	40,000円	1,530,000円	4,913,138円

【一般会費の状況】

区分	西彼	西海	大島	崎戸	大瀬戸	計
総世帯	3,460世帯	2,900世帯	2,738世帯	718世帯	2,589世帯	12,405世帯
加入世帯	1,587世帯	1,461世帯	1,044世帯	458世帯	1,490世帯	6,040世帯
加入率	45.9%	50.4%	38.1%	63.8%	57.6%	48.7%

◆令和4年度との比較

区分	令和5年度		令和4年度		比較増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
西彼	1,645件	1,130,600円	1,724件	1,202,300円	-79件	-71,700円
西海	1,543件	1,364,573円	1,552件	1,368,890円	-9件	-4,317円
大島	1,077件	756,645円	1,100件	750,220円	-23件	6,425円
崎戸	478件	314,800円	526件	344,300円	-48件	-29,500円
大瀬戸	1,568件	1,177,520円	1,621件	1,222,222円	-53件	-44,702円
市外	39件	169,000円	38件	198,000円	1件	-29,000円
合計	6,350件	4,913,138円	6,561件	5,085,932円	-211件	-172,794円

◆令和5年度寄付金実績

区分	一般寄付		香典返し寄付		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
西彼	3件	170,000円	5件	210,000円	8件	380,000円
西海	4件	149,732円	20件	950,000円	24件	1,099,732円
大島	0件	0円	18件	530,000円	18件	530,000円
崎戸	2件	56,196円	10件	265,000円	12件	321,196円
大瀬戸	3件	313,000円	33件	1,005,000円	36件	1,318,000円
合計	12件	688,928円	86件	2,960,000円	98件	3,648,928円

◆令和5年度香典返し寄付金金額別内訳

(単位:件)

区分	~1万円	~3万円	~5万円	~8万円	~10万円	10万円~	合計
西彼	0	2	3	0	0	0	5
西海	0	9	9	0	1	1	20
大島	1	15	2	0	0	0	18
崎戸	2	7	1	0	0	0	10
大瀬戸	4	20	9	0	0	0	33
合計	7	53	24	0	1	1	86

◆令和4年度との比較

区分	令和5年度		令和4年度		比較増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
西彼	8件	380,000円	7件	550,000円	1件	-170,000円
西海	24件	1,099,732円	21件	477,400円	3件	622,332円
大島	18件	530,000円	15件	640,000円	3件	-110,000円
崎戸	12件	321,196円	14件	278,643円	-2件	42,553円
大瀬戸	36件	1,318,000円	50件	1,341,394円	-14件	-23,394円
合計	98件	3,648,928円	107件	3,287,437円	-9件	361,491円

②クラウドファンディングの取組み

ファンドレイジングとクラウドファンディングについて下記のとおり勉強会を行った。

とき	内容	講師	対象
7月27日	ファンドレイジングとクラウドファンディングについて	一般財団法人未来基金ながさき 杉本 創 氏	管理職

(4) リスク管理やコンプライアンスに関する管理体制の整備

リスクマネジメント委員会を下記のとおりオンラインで開催した。

とき	内容	対象
12月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の体制について ・事故報告について ・BCPIについて ・感染症防止に関する指針について ・虐待防止に関する指針について 	管理職及びリスクマネジャー

<利用者等からの苦情解決の取り組み>

社協が提供する福祉サービスに係る利用者からの苦情を解決するための体制を整え、利用者の権利を擁護し、満足感の向上を図り、福祉サービスを適切に利用できるように支援した。

設置区分	担当者	設置理由
苦情解決責任者	各事業所は管理者 本所は事務局長	苦情解決の責任主体を明確にするために設置
苦情受付担当者	事業所の若干名の職員	利用者が苦情の申出をしやすい環境を整えるために設置
第三者委員	各地区の民生委員児童委員協議会副会長5人	苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するために設置

【第三者委員】

(敬称略)

氏名	町名	役職
末岡 直美	西 彼	西彼地区民生委員児童委員協議会副会長
末長 昭則	西 海	西海地区民生委員児童委員協議会副会長
小佐々 佳秀	大 島	大島地区民生委員児童委員協議会副会長
増山 和行	崎 戸	崎戸地区民生委員児童委員協議会副会長
中富 洋幸	大瀬戸	大瀬戸地区民生委員児童委員協議会副会長

※1 任期:令和4年12月1日～

【第三者委員との意見交換会】

第三者委員を介する苦情はなかったが、その他事業等の苦情報告と意見交換を行った。

開催日	参加者
2月22日	第三者委員4人、会長他管理職

(5) 計画的な採用・異動等の人事管理

(単位:人)

区分	正職員	契約職員	登録ヘルパー	パート職員	合計
採用	1	0	0	16	17
退職	12	1	1	15	29

※退職者12人のうち6人が定年退職で5人が再雇用

人員採用計画に基づき、退職者等の補充として契約職員から正職員への転換試験を実施し4人(うち1人は令和6年度から)を正職員として登用した。

(6) 研修・能力開発等の計画的な人材育成

①WEB研修の実施

年間を通して下記職員を対象にオンライン研修を行った。

月	動画タイトル	対象者
4月	接遇に関する研修	在宅職員
	パワーハラスメント(パワハラ)	全職員
5月	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	在宅職員
	脱皮する	全職員
6月	身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修	在宅職員
	Anger Management (概要編)	全職員
7月	高齢者虐待防止に関する研修	在宅職員
	エスカレーションの対応	全職員
8月	非常災害時の対応に関する研修	在宅職員
	社会人基礎力 その②	全職員
9月	介護予防に関する研修	在宅職員
	チームリーダーのリーダーシップ	全職員
10月	倫理及び法令遵守に関する研修①	在宅職員
	認知症に関する研修	
11月	生活リハビリ研修	在宅職員(通所介護)
	介護事故・ヒヤリハット研修	在宅職員(訪問介護)
	現場で使えるケアプラン①	在宅職員(居宅介護支援)
12月	事故発生又は再発防止に関する研修(福祉用具含む)	在宅職員(通所介護)
	倫理及び法令遵守に関する研修②	在宅職員(訪問介護)
	現場で使えるケアプラン②	在宅職員(居宅介護支援)
1月	プライバシーの保護の取り組みに関する研修	在宅職員
2月	事故発生又は再発防止に関する研修	在宅職員
3月	介護予防及び要介護度進行予防に関する研修	在宅職員

<集合研修>

とき	研修内容	対象者
令和5年9月15日	交通安全講習会 講師:西海警察署 職員	全職員

②専門分野に応じた研修受講

各分野ごとに県社会福祉協議会等の研修会を受講した。

③実習生の受入

区分	内容
社会福祉分野	長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科 学生1人 本所で 社会福祉士相談援助実習受入 (受入期間:8月8日~9月14日)

(7) 崎戸社会福祉センターの移転に伴う意見交換会及び住民説明会

施設の老朽化に伴う移転についての意見交換会及び説明会を下記のとおり開催した。

とき	内容	参加者
12月11日	崎戸社会福祉センターの移転について意見交換会	崎戸住民13人
2月22日	崎戸社会福祉センターの移転経過の説明	崎戸住民15人

(8) 災害被災地への職員派遣

令和5年8月豪雨災害で被災した福岡県久留米市へ災害ボランティアセンター業務支援のため職員1人を派遣した。

派遣期間	派遣先	派遣人員
令和5年8月3日~6日	福岡県久留米市災害ボランティアセンターサテライト	1人

(9) 所管庁への届出や対外的な法的対応を行う法務に関する業務

所管庁への届出等は適切に実施した。

(10) 労働法制に基づいた労務管理

労務管理は、法令に基づき適切に取り組んだ。

(11) 地域福祉活動委員会と財務委員会の開催

今年度の委員会は開催しなかった。

(12) BCP(事業継続計画)の見直し

感染症及び災害に備えたBCPを適宜見直し修正している。

(13) 情報発信機能の強化

① 広報誌の毎月発行(各世帯のほか医療機関、金融機関、福祉事業所等に配布)

福祉情報の提供と市民の福祉意識の高揚を図るため、社協だより「すくらむ」を市内の各世帯へ配布した。

◆ 毎月掲載(無料法律相談のお知らせ、生活支援相談室、有料広告、寄付・お礼、編集後記)

4月号 (No.216)	地域助け合いフォーラム(崎戸)、中学生の介護の仕事体験、ボランティア助成金案内、大瀬戸ふれあい食事サービス紹介、大島ふれあい福祉レクリエーション大会、崎戸福祉総合講座のご案内、さいかいデイ移転、親子遠足(横瀬保育所)、物品寄付、ホワイトパンプキンふれあいコンサート案内
5月号 (No.217)	こむかえこども園外遊びの様子、令和5年度事業計画・予算、民生委員児童委員活動強化週間、児童福祉週間、横瀬保育所・大島学童入所式、大島子育て支援センターおやつ作りボランティア紹介(23年会大島)、崎戸100歳体操、レンタカー事業紹介、ファミサポ会員募集説明会、3月号歌手グループ名を探そうコーナー回答
6月号 (No.218)	県ねりんピックグラウンドゴルフ競技の様子、高齢者スポーツ特集、は・あ・と・ふ・るクリーンアップ作戦、物品貸出事業案内、地域助け合いの集い(崎戸)、福祉推進員交代者名簿、療育を考える会長選出、親子教室ほほえみ(大島)、ファミサポ物語り、ファミサポ会員交流説明会案内、ホワイトパンプキンチャリティコンサート寄附金、5月能登地方災害義援金
7月号 (No.219)	百合の里日中活動の様子(大瀬戸)、西海市社協会員募集(会費の使途・特典)、市老連女性部ペタンク大会、地域福祉活動計画、地域福祉連絡会(インタビュー)、福祉体験学習(西海小・大串小)、横瀬保育所親子参観、市施設協総会、市老連会長選出、西彼保健所保健福祉相談事業、赤い羽根号助成
8月号 (No.220)	崎戸ふれあいの集いの様子、会長・理事・監事・評議員選出、R4年度決算・事業報告、ひとり暮らしの集い(西彼)、ふれあいの集い(崎戸)、にこにこコール交流会(大瀬戸)、サマーボランティアキャンペーン参加募集案内、市老連ペタンク大会、大島子育て支援センター工作、SNS紹介(インスタ、フェイスブック)、24時間テレビ募金活動案内
9月号 (No.221)	大島学童保育バスハイク、防災の日特集(非常持出袋、災害ボランティア職員派遣)、老人の日特集(西海町・大瀬戸町)、地域助け合いの集い(崎戸4回目)、川棚町助け合い有償ボランティア勉強会講師派遣(崎戸支所 岩永)、学童保育の夏休みの様子、教育支援資金案内、サマーボランティア体験記、福祉推進員交代、24時間テレビ募金感謝

10月号 (No.222)	赤い羽根共同募金運動、災害ボランティアセンター運営訓練(大瀬戸)、ふれあい子ども食堂(西海)、ハートふれあい訪問(西海)、西彼ボランティア連絡会(西彼)福祉学習・体験(大瀬戸)、大島児童館祭り、グランドゴルフ大会(大瀬戸)、地域助け合いフォーラム参加者募集
11月号 (No.223)	社協会費実績報告(中間)、健康づくりリーダー養成講習会、ふれあい食事サービス(大瀬戸)、大島地区ふれあい福祉レクリエーション大会、歳末たすけあい配分事業案内、移動支援学習会、「すこやかな育ちのヒント」子育て講習会、高校生等の介護職インターンシップ案内
12月号 (No.224)	障害者週間、障がい者等相談支援事業所(市業務委託先)紹介、出前講座紹介、地域助け合いフォーラム(大瀬戸)、老連女性部手芸教室、横瀬保育所せんだんまつり、赤い羽根共同募金チャリティーイベント紹介、歳末助け合い運動、老人クラブ・中学生グラウンドゴルフ交流会、障害者芸術祭in佐世保紹介
1月号 (No.225)	会長年頭あいさつ、地域の人々の今年の抱負、あいさつメッセージコンクール表彰式(大島)、福祉6団体交流事業、さいかいガイドの会活動報告、大崎小学校福祉体験、ふくし教育推進フォーラム研修報告、長崎県社会福祉協議会会長表彰、ファミサポ冬の交流会、福祉介護の職場・ミニ面談会(西彼)
2月号 (No.226)	福祉の仕事紹介、火の用心訪問(中浦地区)、西海総合福祉センターボッチャ教室、大島・崎戸ひとり暮らしの集い開催、西海市ボランティア講座(西彼)能登半島地震災害義援金募集、新人職員紹介、西彼保健福祉センター(遊湯館)営業時間変更、西海市社会福祉協議会正社員募集
3月号 (No.227)	赤い羽根共同募金運動実績報告、歳末たすけあい募金実績報告、令和6年度ボランティア保険加入のお知らせ、西海市手話サークル手話紹介、西海東小学校学習発表会、苦情解決担当者紹介、横瀬保育所おゆうぎ会、社協法人会員のお知らせ、社協だより発行回数変更のお知らせ、視覚障がい者との交流会開催のお知らせ

②広報誌広告協賛企業の募集

◆社協だより有料広告

区分	掲載料金	件数	合計
1種広告	5,000円	0件	0円
2種広告	8,000円	12件	96,000円

③ホームページの運営・管理

◆ウェブサイトによる広報

市内外に広く福祉情報を発信するため、ウェブサイトの定期的な更新と共に多種多様な福祉情報の発信に努めた。

④フェイスブック等のSNSの運営・管理

市内外に広く社協の活動を発信するため、SNSの定期的な更新を行った。

区分	フォロワー数
フェイスブック	89
インスタグラム	703

II 地域福祉活動の推進

1. 地域福祉活動の充実・促進

(1) 第3期地域福祉活動計画の推進・評価(計画期間:令和3年度~令和7年度)

地域福祉課及び支所職員で構成する作業部会を開催し、第3期西海市地域福祉活動計画の進捗状況の確認と推進を図った。

作業部会名	開催日	内容
相談機能・支所機能	7月19日	4月から相談システムを導入し、記録の一元化など業務の効率化を図った。職員の資質向上を目的に社協内の他職種職員間でケース会議を定期的に行なった。 また、市民見協に依頼し、ひきこもり・ヤングケアラーの状況調査を行った。
	8月21日	
	9月19日	
	11月7日	
	12月18日	
	2月6日	
	3月5日	
出前・体験・交流	7月20日	学校と協働した福祉教育プログラムを作成しており、策定評価委員でもある校長会長の意見をいただきながら作成。また福祉出前講座は昨年度に実施した社協職員アンケートを分析し、住民向けアンケート原案を協議し令和6年3月にサロン団体へアンケート調査を実施した。
	8月28日	
	9月29日	
	10月13日	
	12月1日	
	12月20日	
	1月12日	
	1月18日	
	2月7日	
	2月22日	
福祉推進員・地域福祉連絡会	5月23日	各地区福祉推進員会会長と福祉推進員制度について意見交換を実施。要綱作成から17年が経過し、改正が必要な箇所が見られるため今後改正に向けて協議を行う。 また、地域福祉連絡会の報告様式についても協議を行った。
	5月24日	
	3月5日	

作業部会名	開催日	内容
ボランティア	7月10日	ボランティアセンターの役割周知や登録促進、情報発信を随時展開。住民主体の「地域福祉の推進」について、ボランティア活動を主眼とした解説用プログラムの作成中。
	10月4日	
	11月17日	
	12月6日	
災害ボランティア	7月28日	西海市防災訓練での災害ボランティアセンター運営訓練の内容やマニュアルの見直し・社協内での訓練実施について検討した。
	8月21日	
	9月5日	
	11月16日	
作業部会代表者会	1月9日	各作業部会の状況確認と策定評価委員会について検討した。
	1月22日	

【策定評価委員】

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日 策定評価委員 11人（敬称略）

選出区分	役職	氏名	所属
学識経験者	委員	坂本 雅俊	長崎国際大学社会福祉学科教授
保健、医療、福祉等の施設又は事業所の関係者	委員	古庄 正輝	西海市福祉施設連絡協議会
福祉団体の関係者	委員	山下純一郎 三岳孝夫	西海市老人クラブ連合会長
	委員	磯田 篤市	西海市民生委員児童委員協議会連合会副会長
学校関係者	委員	射場邦子 長谷川文也	西海市校長会長
地域住民の代表者	委員	相川和拓 島田典博	西彼地区行政区長会長
	委員	辻 道行	西海地区行政区長会長
	委員	村田 利夫	大島地区行政区長会長
	委員	福岡昭和 喜浦 健	崎戸地区行政区長会長
	委員	竹口一幸 林 俊範	大瀬戸地区行政区長会長
本会会長が適当と認める者	委員	松尾 勝宏	西海市福祉課長

※氏名の右欄は令和5年4月1日から

【策定評価委員会】

西海市地域福祉推進会議と同日に開催し、下記の内容で説明等を行った。

開催日	内容	参加人数
令和6年1月27日	・地域福祉活動計画の進捗状況説明 ・地域福祉連絡会や福祉教育等についての意見交換	出席者10人

(2) 地域福祉連絡会の開催

地域のさまざまな生活課題の早期発見と解決に向けて行政区長、民生委員児童委員、福祉推進員等の参加を得て地域福祉連絡会を市内80か所で設置しており、ひとり暮らし高齢者等の確認や緊急連絡網の作成、見守りネットワーク等について協議した。

区分	開催日	開催地区	参加人数	会場
西彼地区	6月23日	白似田地区	9人	白似田構造改善センター
	7月21日	下岳地区	10人	下岳活性化センター
	7月25日	上岳地区	9人	上岳郷公民館
	9月6日	伊ノ浦地区	6人	伊ノ浦生活館
	9月29日	宮浦地区	8人	宮浦研修センター
	10月11日	亀浦地区	7人	亀浦郷公民館
	10月18日	大串地区	7人	大串郷公民館
	11月1日	小迎地区	12人	上小迎公民館
	11月24日	中山地区	5人	中山構造改善センター
	11月29日	平原地区	7人	平原郷公民館
	12月5日	風早地区	11人	風早郷公民館
	1月30日	白崎地区	8人	白崎ふれあい館
	2月14日	鳥加地区	6人	蛍の森研修センター
	2月22日	八木原地区	6人	皆割石集会所
2月27日	平山地区	10人	平山郷公民館	
			121人	

地区内の気になる方や世帯の状況確認を行った。また、ハザードマップを見ながら危険地帯を確認し、大雨時や台風時の避難の声掛け等について話し合った。助け合い事業の説明をする中で、集いの場がない地区が数ヶ所あることが分かり、今後の集いの場開設に向けて協議を進めている。

区分	開催日	開催地区	参加人数	会場
西海地区	7月11日	七釜地区	15人	七釜公民館
	9月19日	天久保地区	6人	天久保公民館
	10月21日	横瀬東地区	12人	横瀬東公民館

区分	開催日	開催地区	参加人数	会場
西海地区	10月31日	面高地区	9人	宮ノ下集会所
	11月12日	面高地区	9人	面高地区内
	11月12日	太田和地区	10人	太田和地区内
	11月17日	太田和地区	12人	太田和北公民館
	12月6日	中浦地区	19人	中浦公民館
	12月24日	中浦地区	21人	中浦地区内
	1月30日	七釜地区	16人	七釜公民館
	2月13日	丹納地区	7人	丹納公民館
	2月22日	白岳地区	4人	白岳公民館
	2月27日	横瀬西地区	10人	横瀬地区コミュニティセンター
	3月9日	川内地区	10人	川内公民館
	3月12日	黒口地区	3人	西海総合福祉センター
	3月12日	水浦地区	7人	水浦公民館
			170人	

地域の気になる人やひとり暮らし高齢者等について地図を見ながら参加者で情報共有を行っている。地域助け合いミニフォーラム後、参加者で掲げた「西海地区の目指す地域像」や、地区ごとにその地区の強みを活かし、集いの場、買い物支援、災害時の避難、緊急時の連絡体制について等、課題の解決に向けて協議している。

区分	開催日	開催地区	参加人数	会場
大島地区	7月28日	真砂地区	5人	真砂地区集会所
	8月23日	中戸地区	4人	中戸地区公民館
	8月30日	寺島地区	4人	寺島公民館
	9月2日	大島地区	15人	大島地区公民館
	11月30日	田浦・塩田地区	6人	田浦・塩田地区集会所
	1月26日	真砂地区	8人	真砂地区集会所
	1月30日	寺島地区	5人	寺島公民館
	2月13日	中戸地区	5人	中戸地区公民館
	2月16日	蛤地区	6人	蛤地区公民館
	2月21日	徳万地区	7人	徳万地区集会所
	3月7日	百合ヶ丘地区	5人	百合ヶ丘地区公民館
	3月13日	塔ノ尾地区	5人	塔ノ尾地区公民館
	3月14日	大島地区	18人	大島地区公民館
	3月19日	間瀬本町地区・間瀬東町地区	14人	間瀬地区公民館
	3月27日	中央地区	5人	中央地区集会所
			112人	

地域の気になる人やひとり暮らし高齢者等を地図上へ落とし込み、参加者で情報共有を図った。また、地区ごと集いの場の開催日時や開催場所等をまとめ、今後の開催予定の地域助け合いフォーラムへの取り組み材料に必要な情報収集を行っている。

区分	開催日	開催地区	参加人数	会場
崎戸地区	5月31日	横浦地区	9人	東町集会所
	6月14日	平島地区	10人	平島住民センター
	7月6日	中央地区	6人	蠣浦中央集会所
	7月10日	村地区	6人	村地区公民館
	10月31日	水浦地区	6人	崎戸社会福祉センター
	11月1日	江島地区	8人	江島住民センター
	11月9日	本郷地区	12人	本郷公民館
	11月29日	平島地区	11人	平島住民センター
	1月29日	栗崎地区	6人	崎戸社会福祉センター
	2月27日	村地区	4人	村地区公民館
	3月19日	本郷地区	15人	本郷公民館
			93人	

地域福祉連絡会の中で、地域の気になること(人や場所など)を地図に落とし込み、参加者と情報共有を図った。また、地区におけるアセスメントを行い、地区の「強み」、「課題」の抽出に取り組んでいる。

区分	開催日	開催地区	参加人数	会場
大瀬戸地区	4月14日	羽出川地区	6人	羽出川公民館
	4月21日	下山地区	7人	下山公民館
	5月12日	東浜地区	8人	東浜公民館
	5月19日	松島(釜浦・本村・西泊・外平・内浦)地区	17人	松島地区公民館
	5月24日	平倉地区	7人	平倉公民館
	6月7日	上郷地区	7人	上郷集会所
	6月9日	板浦地区	10人	板浦公民館
	6月14日	西区地区	6人	西区公民館
	6月14日	緑ヶ丘地区	4人	緑ヶ丘集会所
	6月20日	西浜地区	10人	西浜公民館
	6月27日	小松地区	15人	中小松公民館
	6月28日	柳地区	6人	柳公民館
	7月3日	幸物地区	6人	区長宅
	7月13日	小干地区	5人	小干集会所
7月27日	下郷地区	7人	下郷公民館	

区分	開催日	開催地区	参加人数	会場
大瀬戸地区	7月27日	福島地区	10人	福島公民館
	8月2日	向島地区	5人	向島公民館
	8月25日	樫浦地区	9人	樫浦公民館
	9月2日	奥浦・上の瀬・河通地区	9人	奥浦公民館
	9月8日	板浦地区	11人	板浦公民館
	9月13日	西区地区	5人	西区公民館
	9月13日	緑ヶ丘地区	4人	緑ヶ丘集会所
	9月19日	雪浦(南区・中区・北区)地区	9人	雪浦地区公民館
	9月22日	西浜地区	10人	西浜公民館
	10月13日	下山地区	6人	下山公民館
	10月19日	羽出川地区	5人	羽出川児童館
	10月24日	藤原地区	4人	藤原集会所
	10月25日	白西平地区	4人	大瀬戸支所
	11月7日	小松地区	6人	中小松公民館
	11月8日	東浜地区	6人	東浜公民館
	12月4日	松島(釜浦・本村・西泊・外平・内浦)地区	16人	松島地区公民館
	12月5日	柳地区	5人	柳公民館
	12月6日	上郷地区	6人	上郷集会所
	12月8日	板浦地区	11人	板浦公民館
	12月13日	西区地区	5人	西区公民館
	12月13日	緑ヶ丘地区	3人	緑ヶ丘集会所
	12月22日	西浜地区	9人	西浜公民館
	1月18日	小干地区	5人	小干集会所
	1月26日	下郷地区	6人	下郷公民館
	1月30日	福島地区	7人	福島公民館
	2月7日	平倉地区	6人	平倉公民館
	2月21日	向島地区	5人	向島公民館
	2月28日	幸物地区	6人	区長宅
	3月6日	雪浦(南区・中区・北区)地区	8人	雪浦地区公民館
	3月8日	板浦地区	11人	板浦公民館
3月9日	奥浦・上の瀬・河通地区	7人	奥浦公民館	
3月13日	西区地区	5人	西区公民館	
3月13日	緑ヶ丘地区	5人	緑ヶ丘集会所	
3月22日	西浜地区	8人	西浜公民館	

区分	開催日	開催地区	参加人数	会場
大瀬戸地区	3月22日	樫浦地区	8人	大瀬戸コミセン
			366人	

地域の気になること(人や場所など)を地図に落とし込み情報共有をしているため、日頃の見守りを意識してできるようになった。高齢者一人暮らしの方を中心に救急安心カードを作成し、緊急時に活用できるようにした。災害時の避難について話をする中で自分たちの地域の防災体制の仕組み作りのきっかけになっている。顔の見える関係ができ情報が得やすくなった。また、地区でアンケートを取った結果「気軽に集まれる場所がほしい」との声があり、月に一度公民館でおしゃべりや料理を作る会を始めた地区や百歳体操・ふれあい食事サービスを始めた地区もあった。

【地域福祉連絡会の開催状況】 (令和6年3月末現在)

区分	西彼	西海	大島	崎戸	大瀬戸	合計
設置数(箇所)	15	12	15	8	30	80
令和5年度開催数(箇所)	15	16	15	11	50	107
参加者数(人)	121	170	112	93	366	862
令和4年度開催数(箇所)	16	15	7	7	49	94
参加者数(人)	127	197	38	52	343	757
令和4年度との比較	開催数(箇所)	-1	1	8	4	13
	参加者数(人)	-6	-27	74	41	105

(3) 福祉推進員活動の推進

行政区長や民生委員・児童委員と連携のもと、住民主体の福祉推進員制度を地域に根ざした活動として展開している。

【福祉推進員の設置状況】(令和6年3月末現在) (単位:人)

区分	西彼	西海	大島	崎戸	大瀬戸	合計
福祉推進員	47	60	43	26	53	229

①福祉推進員への情報提供(各地区総会、地域福祉連絡会において)

②地域の福祉課題の把握

地域福祉連絡会において、関係機関と連携して地域課題の把握に努めている。

③見守り活動の強化

地域福祉連絡会で情報共有し、日頃の地域の見守り活動の強化につながっている。

④市福祉推進員連絡協議会及び各地区福祉推進員会の活動支援

開催日	内容	参加人数	会場
5月14日	崎戸地区福祉推進員総会	9人	崎戸社会福祉センター
	福祉推進員制度について説明 消費者トラブルへの気付き・見守りスキルアップ講座		

開催日	内容	参加人数	会場
5月17日	西海地区福祉推進員総会	22人	西海総合福祉センター
	福祉推進員制度について説明研修会 講座名「だまされるのは188!(いやや!)」 講師 西海市消費生活センター様		
5月17日	大瀬戸地区福祉推進員総会	36人	大瀬戸保健センター
	福祉推進員制度について説明 講話「地域で助け合い活動をしませんか？」		
5月19日	西彼地区福祉推進員総会	27人	西彼保健福祉センター
	研修会(グループワーク) 災害カードゲーム「クロスロード」		
5月19日	大島地区福祉推進員総会	26人	大島離島開発総合センター
	災害カードゲーム「クロスロード」の体験 避難所運営について		
5月23日	西海市福祉推進員連絡協議会	17人	西海総合福祉センター
	役員改選について 今年度の事業計画について		

⑤行政区長・民生委員児童委員との合同研修会【崎戸地区】

地域住民の身近な相談相手である行政区長や民生委員児童委員、そして地域の見守り役として活動している福祉推進員の3団体が識見を深めるために西海警察署の協力を得て合同での研修会を実施した。

開催日	内容	参加人数	会場
2月17日	ニセ電話詐欺の事例とその対策及び高齢者の交通安全について	23人	崎戸社会福祉センター

(4) ひきこもりの方の把握と支援

①西海市内で行われたひきこもりに関する研修会の調整・支援を行った。

開催日	内容	参加人数	会場
6月21日	ひきこもりの概念と支援について(西彼保健所主催)	21人	大島離島開発総合センター
8月17日	ひきこもりに関する知識や支援についてのミニ講話(西彼保健所主催)	25人	西彼保健福祉センター

②ひきこもりの方・ヤングケアラーの状況調査を民生委員児童委員の協力を得て行った。

・調査対象：民生委員児童委員のわかる範囲で、ひきこもり・ヤングケアラーの定義に該当する方

・目的：地域の中にどのような支援が必要であるかを検討していくため

・結果：年代に関係なくひきこもりの方おり、状態としては仕事を辞めてからひきこもりになった方、学生時代から不登校でそのまま引きこもっている方が多いことがわかった。

制度の狭間にいるひきこもりの方やヤングケアラーについて、調査結果を元に、地域での理解が進んでいくように支援し、引き続き地域福祉連絡会等で状況把握に努め、関係機関と連携しながら見守りが途切れないようにしていく。

(5) イベント等用具貸与事業

地域の交流活動を支援するため、社協が保有するレクリエーション用具やイベント用品を無料で貸し出した。

◆令和5年度貸出数（令和6年3月末日現在）

区分	品目	令和5年度	令和4年度	前年比
イベント用品	綿菓子機	13件	5件	8件
	ポップコーン機	5件	5件	0件
	かき氷機	18件	7件	11件
	ワイヤレスマイクセット	2件	5件	-3件
	プロジェクター	10件	9件	1件
	スクリーン	3件	5件	-2件
	ポッチャ	5件	7件	-2件
	机	5件	4件	1件
	パイプ椅子	6件	5件	1件
	テント	11件	12件	-1件
レクリエーション用具	グラウンドゴルフセット	7件	6件	1件
	ゲートボールセット	0件	0件	0件
	輪投げセット	7件	14件	-7件
	スカットボール	6件	7件	-1件
	多目的レクリエーションセット	0件	0件	0件
	カローリング	0件	2件	-2件
	ストラックアウト	2件	4件	-2件
	ペタンク	2件	4件	-2件
	その他	0件	3件	-3件

区分	品目	令和5年度	令和4年度	前年比
その他	ベビーベッド	4件	4件	0件
	草刈機	1件	1件	0件
	ブロー	3件	13件	-10件
	オーバーテーブル	0件	1件	-1件
	クーラーボックス	2件	1件	1件
	演台	0件	1件	-1件
	杖	0件	3件	-3件
	体温計	0件	2件	-2件
	押し車	2件	2件	0件
	シャワーチェア	0件	0件	0件
	ポータブルトイレ	8件	19件	-11件
	車いす	2件	5件	-3件
	電子レンジ	0件	1件	-1件
	高齢者疑似体験セット	0件	1件	-1件
	募金箱	1件	0件	1件
ランタン	1件	0件	1件	

(6) 福祉出前講座の実施(各種サロンの運営支援)

社協職員が地域に出向き、サロンなどの地域交流活動の支援を行い、市民が福祉やボランティア等の理解や関心を高める機会をつくった。

区分	サロン名	支援回数	会場
西 彼	平山なかよしクラブ	1回	平山公民館
	風早ごらくクラブ	1回	風早集会所
	中山友愛サロン	1回	中山公民館
	下岳なかよしクラブ	2回	下岳活性化センター
	伊ノ浦わいわいサロン	1回	伊ノ浦生活館
	八木原わいわいクラブ	2回	白浜公民館
	小迎わいわいサロン	1回	瀬之脇公民館
西 海	太田原わいわいサロン	1回	太田原公民館
	横瀬東わいわいサロン	1回	横瀬東公民館
大 島	わかゆりサロン	6回	百合ヶ丘集会所
	徳万地区わいわいサロン	1回	徳万地区集会所
	寺島元気会	1回	寺島公民館
大瀬戸	笑おう会	1回	下郷公民館

(7) 配食事業の推進

①西海市地域支援事業、介護予防・日常生活支援総合事業(配食サービス事業)〈市受託事業〉

在宅のひとり暮らし高齢者等が安心して健康な生活が出来るように配食サービスを行うことにより、安否確認、食生活の改善と健康増進を図り、食を通して在宅での自立を支援した。

◆西海市地域支援事業配食サービス実利用者数 (単位:人)

区分	西彼	西海	大島	崎戸			大瀬戸	合計
				本島	江島	平島		
4月	14	12	9	7	0	1	22	65
5月	14	13	8	7	0	1	22	65
6月	17	16	9	7	0	1	23	73
7月	18	15	9	6	0	1	23	72
8月	17	15	10	6	0	1	21	70
9月	16	15	11	5	0	1	23	71
10月	13	15	12	8	6	1	26	81
11月	13	15	11	10	8	1	24	82
12月	13	15	11	9	6	1	23	78
1月	11	15	11	10	6	2	22	77
2月	11	14	13	9	6	2	24	79
3月	10	13	13	9	6	2	24	77
合計	167	173	127	93	38	15	277	890

②西海市障がい者配食サービス事業〈市受託事業〉

在宅で心身の障がい、疾病等の理由により調理が困難な障がいのある方に対し、配食サービス事業を提供することにより、健康で自立した生活を送ることができるよう支援した。

◆西海市障がい者配食サービス事業実利用者数 (単位:人)

区分	西彼	西海	大島	崎戸	大瀬戸	合計
4月	13	2	3	1	4	23
5月	12	2	4	1	3	22
6月	12	2	4	1	3	22
7月	12	2	4	1	7	26
8月	12	2	4	1	7	26
9月	13	2	4	1	6	26
10月	13	2	4	1	5	25
11月	13	2	4	1	5	25
12月	13	2	4	1	5	25

区分	西彼	西海	大島	崎戸	大瀬戸	合計
1月	12	2	2	1	5	22
2月	13	2	2	1	5	23
3月	13	2	3	1	5	24
合計	151	24	42	12	60	289

③社協独自配食サービス

西海市からの受託事業と並行して、受託事業で対応できない在宅の要援護者等へ社協独自の配食事業を行い、安心して地域に住み続けられるような支援体制を整えた。

- ・バランスの取れた食事の提供
- ・安否確認の徹底、声かけ、見守り機能の充実
- ・満足度調査の実施

◆社協独自配食サービス実利用者数

(単位:人)

区分	西彼	西海	大島	崎戸			大瀬戸	合計
				本島	江島	平島		
4月	50	86	50	21	0	5	65	277
5月	49	91	46	19	0	5	68	278
6月	50	87	46	18	0	5	69	275
7月	49	82	44	16	0	6	70	267
8月	46	83	43	17	0	6	73	268
9月	46	76	38	20	0	5	67	252
10月	44	75	39	21	0	6	64	249
11月	44	79	40	22	0	5	63	253
12月	43	80	38	20	0	6	64	251
1月	42	77	42	20	0	4	60	245
2月	42	77	40	20	0	3	62	244
3月	38	72	36	21	0	3	58	228
合計	543	965	502	235	0	59	783	3,087
平均	45.3	80.4	41.8	19.6	0.0	4.9	65.3	257.3

◆令和5年度配食事業食数実績

(単位:食)

区分	市受託事業		西海市社協独自配食サービス						食数合計
	※1 地域 支援	※2 障がい 者	普通食	副食のみ	※3 生活支 援ハウス	通所 介護	※4 その他 ①	※5 その他 ②	
※6利用者負担額	410円	410円	600円	※7廃止	550円	450円	600円	450円	
4月	1,167	531	5,841		376	1,522	2	0	9,439
5月	1,228	569	6,028		426	1,677	4	0	9,932
6月	1,263	590	6,013		473	1,553	2	0	9,894
7月	1,375	666	5,922		368	1,474	3	0	9,808
8月	1,237	651	5,517		306	1,405	5	2	9,123
9月	1,353	645	5,261		276	1,464	4	0	9,003
10月	1,485	670	5,438		316	1,477	6	2	9,394
11月	1,459	654	5,288		377	1,449	6	0	9,233
12月	1,456	605	5,364		411	1,427	2	1	9,266
1月	1,352	571	5,079		407	1,286	4	1	8,700
2月	1,296	549	4,982		418	1,288	6	1	8,540
3月	1,403	635	5,055		403	1,303	2	1	8,802
合計	16,074	7,336	65,788	0	4,557	17,325	46	8	111,134
令和4年度	12,702	6,853	69,172	6,746	4,126	19,573	54	44	119,270
比較増減	3,372	483	-3,384	-6,746	431	-2,248	-8	-36	-8,136
前年比(%)	126.5%	107.0%	95.1%	0.0%	110.4%	88.5%	85.2%	18.2%	93.2%

※1 地域支援:要介護者、介護予防・日常生活支援総合事業(要支援者・事業対象者)

※2 障がい者:障がい者配食サービス事業 ※3 生活支援ハウス:高齢者生活支援ハウス(西海・崎戸)

※4 その他①:ボランティア・職員試食等 ※5 その他②:通所介護調整食

※6 令和4年8月より利用料金の変更。 ※7 令和4年8月より副食のみを廃止した。

(8) 交流・ふれあい事業

①ふれあい食事サービスの実施(大瀬戸)

今年度は4月から毎月開催し、会食の後に各会場で民生児童委員やボランティアが趣向を凝らしゲームなどをして盛り上がり、利用者も月に一度の楽しみになっている。10月からは1会場増え、11会場になった。毎月「ふれあい通信」にて地域の身近な情報を発信している。11月には大瀬戸小学校5年生が2会場を訪問して劇やクイズなどで交流を行い、全利用者にいただいた絵手紙への利用者の感想を小学校に届けた。

◆ふれあい食事サービス実績

(単位:人)

区分	利用者数	民生委員・児童委員、ボランティア、スタッフ	合計
4月	67	52	119
5月	62	53	115
6月	65	54	119
7月	62	47	109
8月	62	46	108
9月	72	52	124
10月	81	54	135
11月	76	51	127
12月	69	53	122
1月	75	52	127
2月	84	54	138
3月	89	56	145
合計	864	624	1,488

②居場所・交流・つながり事業の実施【全市へ拡大】

Withコロナに対応した新しい形の「居場所・交流・つながり」の場を検討・実施し、住民主体による地域共生社会の実現に向けて様々な取り組みへの支援を行っている。

【西彼】

ボランティア連絡会:コロナ禍の影響で活動が制限され、集まる機会を失っていたが、市の助成金を活用した活動を紹介し、月に一度集まる機会ができ、交流を再開できた。

集いの場についても地域福祉連絡会の中で提案し、2地区で立ち上げについて聞き取り検討したが、実施までは至っていない。

区分	内容
大串地区	介護予防に積極的に取り組んでおり、百歳体操などに多くの住民が参加している。
鳥加地区	小部落(5人程度)で月1回交流見守り活動をしている。
白崎地区	サロン活動が新型コロナウイルスの影響により無くなってしまい、当時サロンに参加していた住民から集いの場ができたらいいとの意見がでてきている。現在集いの場について民生委員を中心に住民同士で話し合いを行っている。
上岳地区	百歳体操をしたいとの意見があり、地域住民の方々も集いの場等に興味・関心が高い。今後も継続的に支援を行っていく。
白似田地区	新型コロナウイルスが緩和し、今年度多くの行事が行われた。近所同士集まっていたが、近年は免許返納等により移動手段がなく集まっていないところもある。今後集える場所を一緒に考えていきたい。

区分	内 容
風早地区	救急安心カードを作成している。今後必要な世帯の把握等を行い、活動を広げたい。
亀浦地区	毎月最終土曜日に、子ども食堂「101わんさか食堂」が開催されている。
宮浦地区	グラウンドゴルフが盛んで、地域で数人集まって話をする人も多い。
中山地区	11月に子どもから高齢者が集まりグラウンドゴルフ大会を開催。

【西海】

地域福祉連絡会において、地域の実情に合った活動を話し合いながら支援している。また、地域のボランティア団体「安全パトロール隊」と共催で、「は・あ・と・ふ・るクリーンアップ作戦」を春と秋の2回開催し、学校、保護者、地域、関係機関に呼びかけ、子どもの通学路の清掃活動を行っている。

区分	内 容
丹納地区	毎月第3火曜日に「かたろう会」を開催している。
横瀬東・西地区	地域づくり協議会でも様々な取組みを検討中であることが地域福祉連絡会の中でも話題となっている。
面高地区	11月に民生委員・児童委員、消防団、警察署との火の用心訪問を実施した。
天久保地区	毎月第2土曜日に「ぼちぼちサロン」を開催した。
黒口地区	火の用心訪問の復活、緊急時連絡カードの作成に向けて準備を行っている。
太田和地区	11月に行政区長、民生委員・児童委員、消防団、警察署との火の用心訪問を実施した。
中浦地区	12月に行政区長、民生委員・児童委員、消防団、警察署との火の用心訪問を実施した。
七釜地区	買い物困難者の支援について検討を行う中で、2月に住民220世帯に地域助け合いアンケートを実施し170世帯より回答。集計結果を4月に新旧のメンバーで開催する地域福祉連絡会で今後の進め方を協議する。
全地区	5月と10月に「は・あ・と・ふ・るクリーンアップ作戦」（安全パトロール隊と共催）を開催した。
全地区	3月に集いの場の代表者で意見交換会（みんなのかたり場）を開催した。

【大島】

地域福祉連絡会において集いの場の再開や新しく設立を考えている地区があり地区の集いについて情報収集を行った。また、交流を図るためにグラウンドゴルフの競技説明会やコート作りのアドバイスを行った。その後、地区の世代間交流として大会を開催するまでに至った。

また、実際に集いの場の見学に赴き、参加者からお話を伺い、他地区での立ち上げにアドバイスできる情報を得ることができた。

区分	内 容
大島地区	週1回ゲートボール・グラウンドゴルフ、週2回卓球が行われている。新型コロナウイルスの影響で休止していたサロン活動が再開し、定期的に行っている。
田浦・塩田地区	地区内で高低差があり移動が不便であるが、地域での集まりの際には、乗り合わせていくなどお互い協力している。
塔ノ尾地区	週2回グラウンドゴルフを行っている。新型コロナウイルスの影響でサロンや食事会等の集まりが無くなり、今後立ち上げの支援を行っていききたい。
中戸地区	地域行事が多いが、新型コロナウイルスの影響により活動が休止している。今後再開に向けて支援を行っていく。
蛤地区	平成27年から百歳体操を行っており、計400回以上開催している。また、緊急時に備えて、災害時あんしんシートを地区内で活用できるよう周知している。
徳万地区	第4木曜日にサロン活動を行っている。また、年2回三世代グラウンドゴルフ大会を行っている。
間瀬本町・東町地区	月に1回100歳体操、週3回グラウンドゴルフを行っている。 ゲートボールは毎日行っており、ゲートボールを通じて他の地区との交流も行っている。
寺島地区	集いの場として、100歳体操、わいわい寺島サロンがある。春と秋に三世代グラウンドゴルフ大会を自治会として開催できるよう計画している。
真砂地区	集いの場として、100歳体操、グラウンドゴルフ、老人クラブなどがあるが、生活支援の手助けの場が現在無いため、崎戸町の生活支援ボランティアの仕組みについて知りたいとの意見がでた。
中央地区	新型コロナウイルスの影響で中止していた年1回の納涼大会を再開するため調整中。また、内浦地区では年2回高齢者ふれあい食事会を開催。令和6年度は年4回開催予定。
百合ヶ丘地区	高齢者の買い物や病院への移動等、日常生活の手助けが必要な人が増えている。今後地域の人々や関係機関と連携し、支援方法について考えていく。
全地区	ボランティアグループ「23年会」は、大崎小学校までごみを拾いながら歩いており、子どもの登校時の見守り活動を行っている。
全地区	ボランティアグループ「環境美化を考える会」が、毎月第4日曜日「笑顔食堂」を開催。子どもの見守り及び地域交流を目指している。

【崎戸】

崎戸地区において、老朽化した社会福祉センターの今後に際して、各団体の代表、福祉総合講座の講師等から意見をいただき、センターの移転ならびに活用方法などを協議した。

また、江島地区において実施された介護予防等事業の一環として行われた住民アンケートの結果、「住民同士が気軽に集え、交流が出来る場所が欲しい」との結果を受け、えのしまデイサービスセンターにおいて利用者がいない曜日で2～3時間を住民の居場所・交流のために開放した。

平島地区では住民主体の通いの場がなく、住民自体がどのようなニーズを持っているのか把握するため、西海市ならびに関係機関と協働し平島地区住民の70歳以上の方及び従事者アンケートを実施し、「通いの場」を含めた住民のニーズや課題を把握した。

区分	内容
村地区	行政区長を中心に地区内の清掃活動を積極的に行っている。また民生委員を中心に気になる世帯等の見守り活動を定期的に行っている。
中央地区	地域住民が集まれるようベンチを設置しており、朝はラジオ体操、昼は移動販売車を待つ際に利用しており、住民の集いの場になっている。
栗崎地区	崎戸社会福祉センターで週1回、百歳体操及びサロン活動を行っており、栗崎地区の方々を中心に多くの人に参加している。
横浦地区	民生委員を中心に気になる世帯等の見守り活動を定期的に行っている。老人クラブについて横浦地区の方々を中心に活動しており、グラウンドゴルフなど活発に活動をしている。
水浦地区	民生委員を中心に、近所同士で気がけて見守り活動等行っている。また、大崎高校野球部寮があり、休日など地区内の草刈り等を行っており、地域住民は助かっている。
本郷地区	台風などの災害時に、誰が誰を避難所に連れていくのか事前に決めており、自治会及び住民の支援体制が構築できる。また、高齢世帯や独居世帯に設置している「福祉ベル」の点検を自治会及び消防団等で行っている。
江島地区	江島地区において実施された介護予防等事業の一環として行われた住民アンケートの結果、「住民同士が気軽に集え、交流が出来る場所が欲しい」との結果を受け、えのしまデイサービスセンターにおいて利用者がいない曜日で2～3時間を住民の居場所・交流のために開放している。
平島地区	毎月第2土曜日に、民生委員児童委員やボランティアを中心に平島老人給食を行っており、交流の少ないひとり暮らしの方等にお弁当を配り安否の確認を行っている。
蠣浦・本郷地区	「あなたの地域のおたすけマン」による生活支援ボランティアが行われており、話し相手や清掃活動などを行っている。今後も活動を広げていくために、会員の募集やボランティアを活用してもらえよう、周知活動を行っていく。

【大瀬戸】

緑が丘地区：いきいき百歳体操を行っていたが、地域福祉連絡会の中で助け合いについて協議していく中でふれあい食事サービスも始めることになった。さらに、交流活動を広めるために公民館で地域住民同士で手芸等をして集まっている。

平倉地区：地域福祉連絡会において「何が困っているのか、住民でできることがないか」を知りたいと地域住民にアンケートをとることになりアンケート内容や集計、活動の支援を行った。アンケートの結果、月に一度の茶話会や料理をする会が始まり、回を追うごとに参加者も増えてきている。

区分	内 容
柳地区	移動販売が来ることにより、販売車が来る前から集まり移動販売の利用時が交流の場となっている。
下郷地区	老人会やわいわいサロン「笑おう会」などを中心に交流活動が活発に行われている。
上郷地区	大瀬戸社会福祉センターで入浴した後、センターでゆっくり過ごし交流の場となっている。
平倉地区	地域福祉連絡会において「何が困っているのか、住民でできることがないか」を知りたいと地域住民にアンケートをとることになりアンケート内容や集計、活動の支援を行った。アンケートの結果、月に一度の茶話会や料理をする会が始まり、回を追うごとに参加者も増えてきている。
松島地区	【全体】 さいかい交通の撤退によりよかところ運輸のみとなった。また移動販売もマミーズが来なくなった。桟橋はみんなが利用する場所なので、そこを集まれる場所にはできないかとの声も上がっている。 【内浦地区】 老人会での活動が活発に行われたり、月に1度のふれあい食事サービスの利用者も増えたりと地域住民同士での交流が盛んに行われている。 【外平地区】 血縁関係のない「かぶち」という昔からの助け合いのしくみがある。
白西平地区	行政区長が中心となり、全世帯を把握しすぐに連絡をとれる体制を整えている。
羽出川地区	同居世帯が多い。高齢者は同じ日に通所サービスを利用しておしゃべりを楽しんでいる。地区に合った集いの場を検討している。
下山地区	緊急安心カードを置いてる世帯が多く日頃の見守り活動に役立っている。また、自主防災組織を活用させるために消火訓練を行うよう検討している。地区で行われる行事では人も集まるので、車を運転できない人でも交流に参加できるような集いの場を検討している。
東浜地区	老人クラブ活動が活発に行われてきており、グラウンドゴルフやふれあい食事サービスの参加者も増えている。さらに、地域住民による災害時の対策を全体で共有されており災害時の避難方法も一人も取り残さないよう対策が考えられている。
西浜地区	地区にあった病院が閉院するとのことで、救急安心カードの更新を行った。ふれあい食事サービスやいきいき百歳体操の参加者も多く公民館での交流も盛んに行われている。

区分	内 容
緑ヶ丘地区	いきいき百歳体操を行っていたが、地域福祉連絡会の中で助け合いについて協議していく中でふれあい食事サービスも始めることになった。さらに、交流活動を広めるために公民館で地域住民同士で手芸等をして集まっている。
榎浦地区	新型コロナウイルスの影響で出来ていなかった行事が5年ぶりに開催され、とても賑わった。榎浦地区でも人が集まる機会があればよいとの意見があがっている。ふれあい食事サービスのボランティアに工作が得意な方が加わり、毎回趣向を凝らした交流が行われている。
板浦地区	ふれあい食事サービスを利用している人を中心に、公民館で誰でも集える場所を提供している。その後、いきいき百歳体操が始まり利用者もどんどん増え賑わっている。
福島地区	地区に数か所誰でも利用できる椅子が置かれており、その場所が交流の場となっている。
向島地区	参加者が公民館にそれぞれいろんなものを持ちよりお茶会を開いた。なにかを始めるとは負担になるが気軽に集まってお茶を飲めるような場所を作っていきたいと地域福祉連絡会の時に話されていた。
小松地区	救急安心カードを各世帯に作成しており、確認と・更新を行い緊急時に誰でも対応できる体制を整えている。
雪浦 (南区・中区・北区) 地区	自主防災組織の活性化を目的に、地域で避難訓練等を行いたいとの要望があった。ふれあい食事サービスの参加者も多く、民生委員児童委員を中心に毎月季節に合った交流が行われている。
西区地区	救急安心カードを作成しており、行政区長及び民生委員児童委員と共有できている。いきいき百歳体操やふれあい食事サービスの参加者も多く定期的に公民館での交流が行われている。
奥浦・ 上の瀬・ 河通地区	奥浦地区の老人クラブを中心に積極的に活動している。上の瀬地区・河通地区に老人クラブはないが、奥浦地区と一緒にグラウンドゴルフ等を行い交流している。
幸物地区	地域福祉連絡会や地域助け合いの勉強会において助け合い活動への関心が深まっている。今後も地域に合った交流活動を検討していく。
藤原地区	少ない世帯の地域だが、地区にある神社や公民館清掃を定期的に行い顔を合わせている。
小千地区	地域行事等積極的に参加する人が多い。

③ふれあい給食事業の実施(平島)

平島地区において、民生委員・児童委員やボランティアが中心となり調理を行い、交流の少ないひとり暮らしの方等にお弁当を配り安否の確認を行った。

◆ふれあい給食事業実績

(単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	23	21	25	22	22	20	24	25	25	20	24	20	271
ボランティア	7	7	6	7	6	6	6	7	8	7	7	6	80
計	30	28	31	29	28	26	30	32	33	27	31	26	351

④高齢者交流会の実施

【西彼】ひとり暮らし高齢者の集いの実施

7月7日(金)、西彼地区民生委員児童委員協議会と協同で西彼町の75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、西彼農村環境改善センターにおいて、ひとり暮らしの集いを実施した。当日は、44の方が参加され、ボランティアによる踊りの披露や消費生活センターの講話・民生委員有志による寸劇を楽しまれた。

【西海】ハート・ふれあい訪問の実施

9月16日(土)、西海町の77歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、西海中学校の生徒が作成した絵手紙、西海警察署からの啓発チラシ、社協からお菓子をプレゼントとして、民生委員・児童委員と西海中学校の生徒、西海警察署員、社協職員が159人の自宅に届けた。また中学生は「こども民生委員」として1日活動し、地域に目を向け、思いやりや地域を愛する心を育むことを目的とした。心のこもった絵手紙とプレゼントに喜んでいただき、返信用のハガキで44枚のお返事をいただいた。その中で「民生委員さんと中学生が来てくれて、嬉しかった」「また来年皆さんと会えるのを楽しみにしています」などの声があり、地域のつながりを感じられた。

【大島】一人暮らし高齢者の集いの実施

開催日	会場	対象
1月19日	大島農村勤労福祉センター	参加者45人 来賓6人 民生委員児童委員13人 おおしまこども園園児21人 出演者9人 職員5人

【崎戸】ひとり暮らし高齢者の集いの実施

崎戸町のひとり暮らし高齢者を対象に忘年会及び春を迎える会を実施した。

開催日	内容	参加者	会場
12月21日	会食とボランティア等による演芸での交流会	参加者20人、来賓10人、ボランティア32人、職員6人 合計68人	崎戸社会福祉センター
3月4日		参加者11人、来賓4人、ボランティア8人、職員3人 合計26人	平島住民センター

開催日	内容	参加者	会場
3月11日	会食とボランティア等による演芸での交流会	参加者12人、来賓6人、ボランティア3人、職員3人 合計24人	江島デイサービスセンター

⑤視覚障がい者等との交流会

開催日	会場	内容	参加者
3月15日	大瀬戸保健センター	・生活用具や障害福祉サービスの説明 ・音訳機器など用具の展示 ・意見交換	視覚障がい者10人 ボランティア8人 一般1人 市役所職員1人

⑥第2回西海市障がい者スポーツ大会

10月31日に赤い羽根チャリティーボッチャ大会として開催。

市内で障がいをお持ちの方や、障がい者施設の利用者を対象に25人が参加しボッチャを通じての交流を行った。

⑦崎戸福祉総合講座の開催

崎戸社会福祉センターを会場に、ボランティア講師の指導による下記講座を開催し、参加者のふれあいや生きがいづくりを支援した。

区分	囲碁	手話	健康体操	民踊	カラオケ	書道	フラダンス	大正琴
回数	95回	9回	39回	7回	19回	22回	35回	19回
受講者数	21人	5人	10人	3人	11人	10人	6人	9人
延べ受講者数	941人	26人	228人	44人	123人	149人	175人	133人

⑧大島地区福祉ふれあいレクリエーション大会

大島地区の身体障害者福祉協会、老人クラブ連合会、民生委員児童委員協議会の他、地域婦人会、ボランティア団体の会員がレクリエーションを通して親睦と融和を図る目的で開催した。

開催日	内容	対象	参加者	会場
10月14日	レクリエーションでの交流	大島地区福祉団体等	39人	大島農村勤労福祉センター

(9) 福祉施設との連携・強化

福祉施設連絡協議会の運営支援

市内17法人46施設で構成される西海市福祉施設連絡協議会の事務局を担当し、総会・理事会などの開催支援、関係機関との連絡調整、会計を担っている。併せて西海市社協と福祉人材確保策に関する打ち合わせ等を継続的に実施中。また今年度は地域福祉部会及び広報・交流部会も再開し、研修会や交流会を実施している。

事業名	開催日	内容
西海市福祉人材確保プロジェクト(説明会)	12月13日	西海市福祉人材確保のための求人プロジェクト説明 dip株式会社による採用ロボット・面接ロボット説明

(10) 当事者組織の支援・育成

西海市福祉団体連絡協議会（市老人クラブ連合会、市身体障害者福祉協会、市手をつなぐ育成会、市母子寡婦福祉会、市民生委員児童委員協議会連合会、療育を考える会）の事務を側面的に支援した。

団体人	支援状況
市老人クラブ連合会	会計管理以外は福祉団体連絡協・社協が支援
市身体障害者福祉協会	全面的に福祉団体連絡協・社協が支援
市手をつなぐ育成会	市手をつなぐ育成会で自主運営
市母子寡婦福祉会	自主運営
市民生委員児童委員協議会連合会	全面的に行政支援、各地区民児協は社協支援
療育を考える会	事務局を福祉団体連絡協が支援

(11) 共同募金会と連携した共同募金・歳末たすけあい運動の推進等

① 共同募金運動への協力

共同募金（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）に対する住民の理解を深めながら、戸別募金、法人募金、職域募金、学校募金、イベント募金等の活動に積極的に取り組んだ。年2回の共同募金運営委員会では、目標額や事業内容の協議及び結果報告を行った。

【令和5年度募金実績】

区分	令和5年度	令和4年度	前年比
戸別募金	3,014,146円	3,090,948円	-76,802円
職域募金	281,510円	450,654円	-169,144円
法人募金	1,128,000円	1,144,000円	-16,000円
街頭募金	154,692円	137,665円	17,027円
イベント募金	148,041円	155,423円	-7,382円
学校募金	73,923円	95,149円	-21,226円
その他募金	709,705円	502,456円	207,249円
募金総額	5,510,017円	5,576,295円	-66,278円
目標額	4,251,000円	4,077,000円	174,000円
目標達成率	129.6%	136.8%	-7.2%

【次年度助成額】

区分	令和5年度
福祉事業費助成	2,039,000円
在宅福祉事業費助成	650,000円
目標超過額	1,499,000円
次年度助成額	4,188,000円

【令和5年度 赤い羽根共同募金分室別実績】

(単位:円)

区分	西彼分室	西海分室	大島分室	崎戸分室	大瀬戸分室	合計
戸別募金	804,200	767,544	489,262	210,300	742,840	3,014,146
職域募金	51,390	129,710	34,600	4,750	61,060	281,510
法人募金	205,000	409,000	171,000	91,000	252,000	1,128,000
街頭募金	35,112	44,488	19,852	14,712	40,528	154,692
イベント募金	3,000	16,609	26,000	46,732	55,700	148,041
学校募金	27,847	20,321	9,536	0	16,219	73,923
その他募金	207,190	172,198	194,534	73,641	62,142	709,705
合計	1,333,739	1,559,870	944,784	441,135	1,230,489	5,510,017

◆令和4年度との比較

区分	令和5年度	令和4年度	前年比
西彼分室	1,333,739円	1,240,070円	93,669円
西海分室	1,559,870円	1,569,928円	-10,058円
大島分室	944,784円	1,017,284円	-72,500円
崎戸分室	441,135円	468,301円	-27,166円
大瀬戸分室	1,230,489円	1,280,712円	-50,223円
合計	5,510,017円	5,576,295円	-66,278円

<赤い羽根共同募金 イベント募金内容>

赤い羽根共同募金の啓発と参加者の交流を目的に各種イベントを企画し、下記のとおり実施。

【赤い羽根チャリティーポッチャ大会】障がい者スポーツ大会

開催日	会場	対象	参加者	募金額
10月31日	西彼総合体育館	障がい者	25人	3,000円

【赤い羽根チャリティーパークゴルフ大会】

開催日	会場	対象	参加者	募金額
11月5日	大島パークゴルフ場	市民	26人	26,000円

【赤い羽根グラウンドゴルフ大会】

開催日	会場	対象	参加者	募金額
11月20日	大瀬戸総合運動公園	老人クラブ会員 西海市グラウンドゴルフ協会会員	32チーム (192人)	55,700円

【第16回赤い羽根チャリティー釣り大会】

開催日	会場	対象	参加者	募金額
11月19日	崎戸町トンボ公園横 エントランス公園	不問	大人44人 こども9人	46,733円

【ぎゅぎゅっと!西海フェス2023への協力】

西海市が開催した「ぎゅぎゅっと!西海フェス2023」に参加し、町おこしへの協力(出店)を行うとともに共同募金のPRと街頭募金を行った。

開催日	会場	対象	内容	募金額
11月12日	大瀬戸総合運動公園	来場者	街頭募金、イライラ棒、くじ、飲み物販売	16,609円

②歳末たすけあい募金への協力

歳末たすけあい運動配分委員会を书面審議により開催した。

12月に行われた歳末たすけあい募金では、民生委員児童委員協議会の協力のもと、配分対象者へ義援金や年内に75歳になる方と死別等で一人暮らしになった高齢者に非常用持出袋セットを、在宅障がい児にクリスマスプレゼントを年末に届けた。また、今年度も低所得世帯・ひとり親家庭にお米券を配布した。

【歳末たすけあい運動実績】

募金目標額	1,775,000円	募金総額	1,616,624円
長崎県共同募金会助成金(令和3年度歳末募金「令和4年度用途」分)			590,000円
募金総額+長崎県共同募金会助成金			2,206,624円
配分	配分対象	配分数	金額
	低所得世帯(世帯人数加算有り)	110世帯	550,000円
	ひとり親家庭	87世帯	435,000円
	ひとり暮らし高齢者(75歳以上)	100人	77,220円
	在宅障がい児等	23人	117,270円
	水火災見舞金	2人	20,000円
	配分額小計		1,199,490円
	配分に係る経費(マスク・のし袋)		20,111円
配分額合計		1,219,601円	
事務経費			63,818円
長崎県共同募金会への送金額			923,205円

【歳末たすけあい募金 分室別実績】

区 分	令和5年度	令和4年度	前年比
西彼分室	399,110円	411,150円	-12,040円
西海分室	406,371円	418,912円	-12,541円
大島分室	266,496円	264,786円	1,710円
崎戸分室	133,757円	143,127円	-9,370円
大瀬戸分室	385,890円	410,293円	-24,403円
西海市支会	25,000円	20,000円	5,000円
合 計	1,616,624円	1,668,268円	-51,644円

③令和5年災害義援金

豪雨や地震で被災された方々を支援するため、街頭募金活動や支所窓口等に募金箱を設置し、集まった義援金を送金した。

義援金名	金 額	発生時期
能登地方地震災害義援金	2,008円	令和5年5月
九州北部豪雨災害義援金	1,111円	令和5年7月
大分県豪雨災害義援金	787円	令和5年7月
福岡県豪雨災害義援金	25,988円	令和5年7月
能登地方地震災害義援金	279,517円	令和6年1月
合 計	309,411円	

(石川、新潟、富山、福井)

(12) 24時間テレビチャリティー募金への協力

本所・各支所窓口で募金箱受取窓口と募金箱を設置、8月13日大瀬戸夏まつり会場、8月26日にはエレナ西海店・ナフコ西海店・マツモトキヨシ西海店店頭、大島フェスティバル会場にて街頭募金を行った。

募金受取窓口・募金箱の設置		街頭募金		最終送金額
区 分	金 額	開催日	金 額	
西彼	9,270円	8月26日	53,328円	137,498円
本所				
大島		8月26日	33,081円	
崎戸	9,004円			
大瀬戸	2,231円	8月13日	25,644円	
グッズ売上	4,940円			
合 計	25,445円	合 計	112,053円	

①大島ふれあいフェスティバルへの協力

明るく住みよい元気のあるまちづくりを目的に開催している大島ふれあいフェスティバルに実行委員会として参加し、24時間テレビ街頭募金の実施や店舗での飲み物を販売し、募金活動を行った。

②花火大会(崎戸)への協力

花火の打ち上げのみ行われ、出店は中止されたため募金活動は行わなかった。

2. ボランティア・市民活動の推進

(1) ボランティアセンターの機能強化

ボランティアセンター機能の明確化を行うとともに、ボランティアグループ登録制度、ボランティアグループ活動助成金、研修会等助成金の活用案内、活動拠点、資機材、インターネット環境の提供などの支援内容充実を図った。

①個人会員の登録

市民のボランティアセンターへの関心を高めるため、ホームページやLINEを活用して情報発信を密にし、特に若い世代の登録者を増やすことに努力した。

【登録者数】

区分	令和5年度	令和4年度	前年件数比	前年比
団体数	16団体	16団体	0人	100%
団体会員数	312人	324人	-12人	96%
グループ会員数	0人	7人	-7人	0%
個人(※重複あり)	106人	99人	7人	107%
内訳	申請書登録	0人	0人	
	LINE登録	106人	99人	7人

②グループ登録制度【令和7年3月まで4カ年計画で実施】

「この指とまれ方式」のボランティア活動を支援するためグループ登録制度の令和5年度の登録はなかった。

③情報発信の強化

ホームページ、LINEで提供する情報の住み分けを行い、定期的にボランティアに関する情報・資料の提供を行った。

区分	ブログ	LINE
更新回数	0	7

④ボランティア活動への支援

○ボランティア団体・グループ活動助成金（令和8年3月まで）

今年度は、4団体に45,533円を助成した。

○ボランティアグループ活動助成金（令和8年3月まで）

ボランティア活動を行う際に発生する消耗品や材料費などの経費を軽減するための助成金として創設しているが、今年度グループからの申請がなかった。周知不足なのか検証する必要がある。

○研修会・勉強会等の開催支援

ボランティア団体やグループの研修会開催はなかったが、ボランティアセンターとして市内ボランティア団体やグループを対象とした下記講座を開催した。

○活動拠点、資機材、インターネット環境の提供

令和5年度の利用申請はなかった。

⑤ボランティア学習・活動の実施

県下一周駅伝前の国道206号線沿い道路清掃活動は、雨天のため中止したが、同日予定のボランティア基礎講座は、講師に鎮西学院大学岩永秀徳教授を招き実施した。

⑥活動保険加入の促進

ボランティア活動を安心して行うために、活動保険への加入を促進するとともに、ボランティアセンターに登録した団体、個人へボランティア活動保険掛金の一部を助成した。

⑦にこにこコールサービスの実施（大瀬戸地区）

大瀬戸町のひとり暮らし等の高齢者に毎週月曜日及び第2・4木曜日に、ボランティア3人が利用者9人に延べ290回の電話による安否確認を行った。

⑧食事サービスボランティア研修会（大瀬戸地区）

日時	参加人数	内容
7月28日 (金)	15人	・令和4年度ふれあい食事サービス実績報告 ・出前講座「だまされるのは188!(いやや)」 ・レクリエーション

(2) 福祉教育の推進

「共に生きる力」を育み、地域の身近な福祉課題に気づき、行動できるよう福祉教育を推進した。主に市内の学校に福祉体験学習等の講師として職員を派遣し、福祉学習を行い、学校との事前の打合せ、振り返りを行いながら、今後の福祉教育に生かしていくよう取り組んでいる。

①福祉教育の推進

【福祉学習】

派遣日	学校名	内容
6月9日	西海小学校4年生	福祉について、社協について(講話)、高齢者疑似体験
6月12日	大串小学校6年生	ボランティア活動について、社協について(講話)
6月22日	ときわ台小学校4年生	車椅子体験、ボッチャ体験
6月26日	雪浦小学校全学年	視覚障がいについて(視覚障がい者の講話)
6月26日	大串小学校6年生	車椅子体験、高齢者疑似体験
7月7日	西海東小学校4年生	福祉について、社協について(講話)、高齢者疑似体験
8月30日	大瀬戸中学校教諭	アイマスク体験、車椅子体験
9月5日	大瀬戸中学校3年生	福祉について、社協について(講話)
9月6日	大瀬戸中学校3年生	視覚障がいについて(視覚障がい者の講話)
9月7日	大瀬戸中学校3年生	アイマスク体験、車椅子体験
9月26日	西彼北小学校4年生	高齢者疑似体験、クロスロード体験
10月18日	平島小中学校	車椅子体験、高齢者疑似体験
10月20日	大崎中学校2年生	視覚障がいについて(視覚障がい者の講話)、高齢者疑似体験
11月21日	西海中学校1年1組	福祉について、高齢者疑似体験
11月22日	西海中学校1年2組	福祉について、高齢者疑似体験
12月7日	大崎小学校4年生	車椅子体験、高齢者疑似体験

②プログラム内容の充実

学校や関係機関と協働して、学年に見合った福祉教育プログラムの作成を行い、福祉出前講座の内容充実に向けて住民を対象としたアンケート調査を実施した。

③ボランティア協力校助成事業の推進

市内幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校・高等学校をボランティア協力校に指定し、福祉教育の推進を図り、園児・児童・生徒の福祉の心を育む実践活動への支援を行っている。

【令和5年度ボランティア協力指定校】

(単位:箇所)

区分	幼稚園・こども園・保育園	小学校	中学校	高等学校	合計
西彼	0	3	1	1	5
西海	0	3	1		4

区分	幼稚園・こども園・保育園	小学校	中学校	高等学校	合計
大島	1	1	1	1	4
崎戸	0	2			2
大瀬戸	3	2	1	1	7
合計	4	11	4	3	22

ボランティア協力校の活動を支援するため、申請方式で協力校(園)へ下記金額を上限に助成した。

幼稚園・こども園・保育園	小学校	中学校	高等学校
14,000円	35,000円	35,000円	42,000円

(3) 災害等に備えた取り組み

① 関係機関との相互連絡体制づくり

西海市福祉課と要支援者個別避難計画について協議を行い、各役割について確認している。

② 西海市総合防災訓練への参加

9月1日の西海市総合防災訓練に参加し、災害ボランティアセンター運営訓練を担当した。ボランティア受付、オリエンテーション、マッチング、活動へ出発するまでの流れを確認した。

また自主防災組織との連携についても説明を行い、参加者からニーズの把握方法や立ち上げ決定の経緯などの質問があり、活発な訓練となった。

3. 相談支援・権利擁護

地域住民のあらゆる地域生活課題を受け止め、地域での生活支援に向けた相談・支援活動、権利擁護支援、情報提供・連絡調整、調査など、以下の事業等を地域の状況に応じて実施した。

(1) 総合相談事業の強化

総合相談窓口として無料法律相談のほか、本所及び各支所に窓口を設置し、各種の相談に対応した。また、相談先の窓口一覧表をウェブサイトに掲載し、わいわいサロン等に出向き、気軽に相談できる場を作った。

◆ 無料法律相談(相談時間:13:00~17:00)

開設日	会場	相談件数
4月20日	本所(リモート形式)	5件
5月18日	大瀬戸支所(リモート形式)	4件
6月15日	崎戸支所(対面形式)	4件
7月20日	西彼支所(対面形式)	4件
8月17日	西彼支所(リモート形式)	4件
9月21日	本所(対面形式)	5件

開設日	会 場	相談件数
10月19日	大瀬戸支所(対面形式)	4件
11月16日	崎戸支所(対面形式)	2件
12月21日	西彼支所(対面形式)	5件
1月18日	西彼支所(対面形式)	3件
2月15日	大瀬戸支所(対面形式)	5件
3月21日	本所(対面形式)	5件
合 計		50件

◆福祉総合相談事業

(単位:件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回相談件数(件)	31	25	33	37	49	51	33	49	43	30	47	37	260
経過相談件数(件)	34	25	26	31	21	19	21	14	15	16	18	20	465

【主要相談項目件数】

区 分	配食サービス	生活全般	長崎県生活 福祉資金	介護保険 サービス	その他
件数	145	89	46	37	106

【年齢別】

区分	10代以下	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上	不明	合計
初回相談件数(件)	7	4	6	17	11	12	167	36	260
経過相談件数(件)	4	4	17	196	22	32	175	15	465

・職場内ケース検討会開催

今年度5回、職員の相談機能の強化と資質向上のために、どのような支援を行っているのか、情報共有を行った。

◆ケース検討会の開催

関係機関等が集まり、情報の共有と課題の整理、その解決に向けた個別ケース検討会議を実施した。大島地区では、包括支援課、大島総合支所、社協大島支所による2カ月に1回、定期的集まり、地域福祉連絡会等で得られた地域内の情報共有と対象者の見守りについて協議を実施した。

(2) 西海市生活支援体制整備事業に係る第2層生活支援コーディネーター業務

- ◆地域福祉課職員、各支所地域福祉係 計5人を配置
- ◆地域ニーズと資源の見える化、問題提起
- ◆地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ、連携
- ◆関係者のネットワーク化
- ◆目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一
- ◆地域における生活支援の担い手の養成やサービスの開発
- ◆ニーズとサービスのマッチング
- ◆毎月の打合せ会
- ◆第1層協議体会議、地域助け合いについての研修会へ参加
- ◆地域助け合いのつどいの開催(崎戸地区)
- ◆移動支援学習会の開催(崎戸地区)
- ◆地域助け合いフォーラムの開催(市全体)
- ◆地域助け合い勉強会の開催(大瀬戸地区)

地域助け合いミニフォーラム後に西海市包括支援課と共催で崎戸地区にて地域助け合いのつどい(計4回)を開催。また10月29日に市全体の地域助け合いフォーラムを開催し、その後大瀬戸地区において地域助け合い勉強会(計4回)を開催した。

◆崎戸地区地域助け合いのつどい

	開催日	参加者	内容
1	4月27日	24人	・ミニフォーラムの振り返り ・ワークショップ 「地域であったらいいと思う助け合いは?地域で困っていること何んですか?」
2	5月30日	28人	・ワークショップ 目指す地域像を決めましょう 目指す地域像を実現するために、今後の集いに誰を誘いますか?
3	6月30日	37人	・第1回及び第2回助け合いの集いの振り返り(ワークショップ) ・「目指す地域像」の共有 ・さわやか福祉財団鶴山芳子理事による講義 「目指す地域像を実現するための方策について学ぼう」
4	7月25日	27人	・ワークショップ やってみたい活動は?それを実現するために何から始めますか?どのような形で進めていきますか?

◆崎戸地区助け合いの集いにおいて、目指す地域像の一つに「車の運転免許を返納しても、買い物や通院などの移動に困らず安心して生活できる地域」を掲げた。移動支援の必要性を地域住民は感じながらも、これまで具体的な学習の機会もなく、事故があった場合の責任のこと等を考え先に進めなかったため、講師を迎えて移動支援の実際について学び、地域助け合い活動推進の一助とした。

	開催日	参加者	内容
1	9月25日	31人	講師：NPO法人市民生活支援センターふくしの家 理事長 江口 陽介 氏 講話：「移動支援の実際について」

◆地域助け合いフォーラムの開催（市全体）

令和3～4年度は、西海町および崎戸町にて地域助け合いミニフォーラムを開催したが、令和5年度は市全体の地域助け合いフォーラムを地域包括支援センターと共催で、大瀬戸地区をメイン会場として開催した。

	開催日	参加者	内容
1	10月29日	158人	講演：「広げよう つなげよう 地域の助け合い ～自分たちの住む地域を、自分たちで良くしていこう～」 発表：第2層生活支援コーディネーターより、各地区の実践報告及び状況報告

◆大瀬戸地区地域助け合い勉強会

	開催日	参加者	内容
1	11月20日	30人	・フォーラムの振り返り ・助け合いゲーム ・ワークショップ 「困っていること、あったらいいなと思う助け合い」
2	1月26日	30人	・静岡県袋井市と西海町の活動動画視聴 ・グループワーク ① 目指す地域像を選ぼう ② 目指す地域像を実現するために誰を誘いますか
3	2月19日	52人	講話：「静岡県袋井市 たすけあい遠州・あえるもの活動を通じて」 講師：静岡県袋井市 稲葉ゆり子 氏 (公財)さわやか福祉財団 鶴山芳子常務理事

	開催日	参加者	内容
4	3月17日	38人	・グループワーク「目指す地域像を実現するために」 これならできるといえることはありますか どのような形ですすめていきますか ・鶴山常務理事よりアドバイス・総評

(3) 西海市高齢者福祉サービス事業調査<市受託事業>

外出支援サービス、介護タクシー等料金助成事業、緊急通報体制整備事業、高齢者生活支援ハウス、黒口ふれあいの館の利用申請実態調査を実施した。

(単位:件)

区分	西彼	西海	大島	崎戸	大瀬戸	合計
外出支援サービス	1	3	1	0	0	5
介護タクシー	1	0	0	0	0	1
緊急通報	0	1	0	0	0	1
高齢者生活支援ハウス	5	3	4	4	3	19
ふれあいの館	0	0	0	0	0	0
合計	7	7	5	4	3	26

調査場所 市内19件、市外7件 計26件

(4) 介護機器相談・貸与事業

高齢または身体の障がいなどにより、日常生活に著しく支障のある方や家族の相談に応じ、福祉・介護機器を貸し出した。

◆令和5年度貸出数

区分	延貸出数
介護ベッド	7件
車いす	82件

(5) 生活困窮者自立相談支援事業<市受託事業>

西海市から生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業と家計改善支援事業を受託し、生活困窮者等からのさまざまな相談を受け付け支援を行うとともに、関係機関との連携を図るなど、ネットワークの構築等に努めた。生活困窮者のさまざまな困りごとの相談を受け付け、課題分析に基づいてプランを作成し、各種制度やサービス、関係機関等につなぐなど支援した。

(6) 生活困窮者家計改善支援事業<市受託事業>

生活困窮者の家計に関する相談を受け付け、家計計画表を作成するなど、家計管理に関する支援を行った。

◆【支援状況】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談受付件数	3	6	8	10	10	5	10	7	2	12	2	9	84
プラン作成件数	11	8	11	12	10	12	12	10	12	7	8	12	125
就労支援対象者数	1	0	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0	7
業法等に 基用づく 件数事	住居確保給付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計改善支援事業	11	7	11	12	8	12	12	9	12	7	8	121
	自立相談支援 事業による就労 支援	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	5
その他	生活福祉資金 等による貸付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活保護受給 者等就労自立 促進事業	1	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	6
就労者数（一般就労総数）	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1	7
増収者数（総数）	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4

【支援調整会議・個別ケース会議の開催】

関係機関（者）が集まり、情報の共有と課題の整理、その解決に向けた支援方法等を協議するための会議を実施した。

◆支援調整会議（事業に位置付けられたもの）毎月1回：12回

(7) 緊急食料品支援事業の実施

市民への募集や企業との連携により食材確保に努め、食材確保の困難な生活困窮者に対して、早急な援助が必要と認められる場合に、短期間必要な食材を提供し、生活再建に向けた支援を行った。食材確保においては、個人や企業等からの食材・食品の提供や寄付金等を活用させていただいた。

【支援件数】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度延べ件数(件)	11	14	7	5	3	5	7	6	12	4	1	5	80
令和4年度延べ件数(件)	9	18	14	11	11	11	8	9	10	8	6	11	126
前年度比較	2	-4	-7	-6	-8	-6	-1	-3	2	-4	-5	-6	-46
令和5年度延べ世帯員数(人)	26	35	18	9	3	5	12	8	30	7	2	10	165
令和4年度延べ世帯員数(人)	15	35	30	30	21	25	23	18	28	18	17	26	286
前年度比較	11	0	-12	-21	-18	-20	-11	-10	2	-11	-15	-16	-121

<商品等寄贈及び譲渡> (敬称略)

(株)協和商工	食料及び商品の寄贈	生活困窮者の生活再建や子育て世帯向け食料提供のために活用
個人	お米の寄贈	

(8) 生計困難者レスキュー事業との連携、対応

所持金が枯渇している生計困難者が、公的な制度やサービスを受けられるようになるまでの概ね1カ月以内、必要に応じて生活必需品の給付、食事の提供等の現物給付を支援する生計困難者レスキュー事業の幹事法人と連携し、対応している。

◇令和5年度支援実績 1件

(9) 生活福祉貸付金等貸付事業<県受託事業>

低所得世帯・障がい者世帯・高齢者世帯を対象に、総合支援資金・福祉資金・教育支援資金等の貸付を行った。

◆令和5年度 貸付実績 (貸付総件数: 130件)

区分	今年度貸付件数	貸付金額	未償還残高	滞納額
西 彼	1件	4,974,000円	16,643,163円	3,126,952円
西 海	0件	0	18,029,269円	2,102,519円
大 島	0件	0	7,607,271円	543,190円
崎 戸	0件	0	0	0
大瀬戸	0件	0	18,264,806円	5,280,310円
合 計	1件	4,974,000円	60,544,509円	11,052,971円

◆令和5年度との滞納額の比較

区分	令和6年3月末現在	令和5年3月末現在	前年比
西 彼	3,126,952円	3,476,962円	-350010円
西 海	2,102,519円	2,722,695円	-620176円
大 島	543,190円	630,410円	-87220円
崎 戸	0円	0円	0円
大瀬戸	5,280,310円	5,421,270円	-140,960円
合 計	11,052,971円	12,251,337円	-1,198,366円

【生活福祉資金特例貸付（緊急小口・総合支援資金）】

新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した世帯への生活福祉資金特例貸付は、令和4年9月末日で終了し、下記償還実績の状況により、フォローアップ支援を実施している。

◆令和5年度 緊急小口貸付実績

区分	未償還残高	滞納額
西 彼	3,862,427円	1,670,240円
西 海	2,304,500円	762,020円
大 島	1,567,427円	895,290円
崎 戸	150,100円	0円
大瀬戸	1,106,390円	437,240円
合 計	8,990,844円	3,764,790円

◆令和5年度 総合支援資金貸付実績

区分	未償還残高	滞納額
西 彼	11,993,750円	686,250円
西 海	13,405,000円	405,000円
大 島	4,785,000円	228,750円
崎 戸	0円	0円
大瀬戸	550,000円	25,000円
合 計	30,733,750円	1,345,000円

◆緊急小口等特例貸付借受人へのフォローアップ支援

令和5年1月から緊急小口資金や総合支援資金特例貸付の償還が始まり、償還免除手続き及び償還が困難な方や支援が必要な世帯へのフォローアップ支援について、生活困窮者自立支援事業と連携して生活再建に向け中長期的な伴走型の相談支援を行った。

◆高齢者・障害者住宅整備資金（実施主体：長崎県社会福祉協議会）

障がい者本人、高齢者・障がい者と同居している世帯、または同居するために必要な部屋の増改築費用の貸付事業であるが、現在、新規貸付は取り扱っていない。（令和6年度3月末貸付件数4件）

(10) 市福祉資金貸付事業(実施主体:西海市社会福祉協議会)

低所得世帯の自立と生活意欲の向上を促すため、10万円を限度に無利子での貸付を行った。

◆令和5年度 貸付実績(貸付総件数:26件)

区分	令和5年度貸付件数	貸付金額	貸付総件数	滞納額
西彼	1件	100,000円	10件	444,000円
西海	1件	67,000円	2件	100,000円
大島	0件	0円	5件	142,000円
崎戸	2件	115,000円	3件	132,000円
大瀬戸	2件	200,000円	6件	58,000円
合計	6件	482,000円	26件	876,000円

◆令和4年度との滞納額の比較

区分	令和6年3月末現在	令和5年3月末現在	前年比
西彼	444,000円	407,000円	37,000円
西海	100,000円	196,800円	-96,800円
大島	142,000円	263,500円	-121,500円
崎戸	132,000円	165,000円	-33,000円
大瀬戸	58,000円	97,500円	-39,500円
合計	876,000円	1,129,800円	-253,800円

【欠損処分】

欠損処分	令和5年度、4件の欠損処分を行った。(令和5年6月7日の理事会にて承認)
------	--------------------------------------

【償還指導】

福祉資金	滞納者に対して、文書による督促、電話や訪問により償還指導を行った。
------	-----------------------------------

【資金運営委員会】

区分	内容
3月23日	督促状発送後の反応の報告、令和5年度の貸付状況について

(11) 日常生活自立支援事業の推進<県受託事業>

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等を対象に、福祉サービス利用に関する相談援助や日常的な金銭管理の支援を行った。西海市全域の事業実施のため、社協各支所及び関係機関との協力体制を整え、地域に潜在するニーズの把握に努めた。

◆専門員・生活支援員の活動内容

専門員	生活支援員
<ul style="list-style-type: none"> ・相談受付、受付後の相談・調査 ・支援計画の作成 ・契約の締結 ・支援計画実施段階での利用者訪問 ・支援計画の見直し ・苦情受付 ・社協各支所、関係機関、生活支援員との連絡調整 ・基幹的社協連絡会議、各種研修会参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス利用に関する相談受付、助言 ・預金の払い戻し、預け入れ ・公共料金の支払い ・生活改善のための情報提供、助言、手続きの援助

※生活支援員研修会(西海市社協独自開催) 令和6年3月7日 生活支援員5人参加

◆相談・問い合わせ

(単位:件)

内容	本事業の利用に関するもの				その他	合計
	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他		
令和5年度件数	189	279	326	124	0	918

◆契約件数

(単位:件)

区分	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
令和5年度 新規契約件数	1	0	2	1	4
令和6年3月末 契約件数	8	11	11	4	34

◆契約終了件数

(単位:件)

区分	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
令和5年度 解約件数	1	4	2	0	7

◆生活支援員稼働状況

(単位:回)

区分	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
稼働回数	104	31	92	18	245
専門員代行	33	195	131	76	435

《広報・周知活動》

パンフレットの配布や事業説明を行ったほか、社協だよりに掲載するなど本事業の周知に努めた。

(12) 成年後見制度への取り組み

判断能力に欠ける方等を支援するため、相談に応じるとともに中核機関の実施等に向けて、西海市と協議を行っている。

4. 生活支援

(1) 子育て環境の整備

①ファミリー・サポート・センターさいかいの運営<市受託事業>

ファミリー・サポート・センターさいかいの活動拠点を大島児童館に置き、サブセンターを本所、各支所に置き相談しやすい環境を整えている。また毎月、社協だよりへ4コマ漫画を掲載し市民へ事業についての情報を提供し、住民同士の支え合いで、子育てのお手伝いをしてほしい人(依頼会員)と子育てのお手伝いをしたい人(提供会員)の活動を支援した。

【会員状況】(令和6年3月末現在)

区分	会員数
提供会員	28人
依頼会員	35人・7団体

【提供実績】(令和6年3月末現在)

区分	提供回数(回)	利用者数(人)	提供会員数(人)
個人	2	4	2
団体	76	79	76
合計	78	83	78

【会員交流会】

新型コロナの感染防止策を講じながら、会員の親睦と交流を目的に下記のとおり開催した。

開催日	内容	参加人数	会場
7月2日	会員交流会	子ども15人、大人9人、提供会員3人	西海総合福祉センター
12月3日	会員交流会	子ども17人、大人10人、提供会員2人	西海公民館

【相談会】

事業広報と会員拡大を図るため、地内各町で31回の相談会を開催したが、参加者は2人と少なく周知方法に課題が残った。

開催地区	開催日	参加者	場所	開催地区	開催日	参加者	場所
西彼地区	5月13日	0人	西彼保健福祉センター	崎戸地区	4月15日	0人	崎戸社会福祉センター
	7月8日	0人			6月24日	0人	
	9月30日	0人			8月26日	0人	
	11月11日	0人			10月7日	0人	
	1月13日	0人			12月9日	0人	
	3月9日	0人			2月3日	0人	
西海地区	4月8日	0人	西海総合福祉センター	大瀬戸地区	4月22日	0人	大瀬戸コミュニティセンター
	6月10日	1人			6月3日	0人	
	7月1日	1人			8月12日	0人	
	9月2日	0人			10月14日	0人	
	10月28日	0人			1月27日	0人	
	12月2日	0人			3月2日	0人	
	2月10日	0人		小計	0人		
小計		5人	合計		5人		
大島地区	5月20日	0人	大島離島開発総合センター				
	7月22日	0人					
	9月9日	2人					
	11月25日	0人					
	1月6日	0人					
	2月24日	1人					

②放課後児童健全育成事業(学童保育)の実施【定員40人】

共働きやひとり親家庭等の事情で、昼間に保護者が家庭にいない児童に対し、学校終了後に保護者に代わって保育を行うため、西海市立大島児童館で常設学童保育所を開所した。

ア) 放課後児童健全育成事業(常設学童)の実施

開設場所	西海市立大島児童館	
開設時間	学校終了下校時～18時	
保育料	共働き世帯	6,000円(兄弟2人目以降半額)
	ひとり親世帯	1,000円

◆大島常設学童保育利用者実績

(単位:人)

区分	開設日数	実利用者数	延べ利用者数	1日平均
4月	24日	25人	407人	17人
5月	24日	26人	400人	17人
6月	26日	26人	452人	17人
7月	25日	26人	405人	16人
8月	22日	28人	319人	15人
9月	24日	26人	316人	13人
10月	25日	22人	385人	15人
11月	24日	22人	323人	13人
12月	24日	20人	279人	12人
1月	23日	20人	267人	12人
2月	23日	20人	282人	12人
3月	25日	20人	263人	11人
合計	289日	281人	4,098人	14人

③地域子育て支援拠点事業の実施

大島子育て支援センターにおいて、地域の子育て支援情報の収集・提供に努め、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として機能するとともに、拠点に集う参加者のつながり作りを支援した。

◆年間利用者数

区分	開設日数	利用者数	1日平均
4月	20日	242人	12.1人
5月	20日	216人	10.8人
6月	22日	261人	11.9人
7月	20日	209人	10.5人
8月	18日	158人	8.8人
9月	20日	286人	14.3人
10月	21日	424人	20.2人
11月	20日	342人	17.1人
12月	20日	224人	11.2人
1月	19日	252人	13.3人
2月	19日	339人	17.8人
3月	20日	361人	18.1人
合計	239日	3,314人	13.9人

◆本の読み聞かせ:

毎週火・木曜日

◆広報紙の発行:毎月発行

◆子育て講座等:毎月1回

④チャイルドシート等貸与事業の推進

家庭で不要になったチャイルドシート等を募集し、貸し出すことによりチャイルドシートの再利用と幼児の生命、身体の保護に努めた。

区分	チャイルドシート	ジュニアシート	ベビーシート	ベビーカー
保有台数	76台	39台	21台	22台
延貸出人数 (令和5年度)	106人	15人	15人	14人

※延長貸出件数含む

(2) 生活支援サービスの充実促進

高齢や障がいなどの理由により通常の在宅生活を維持することが困難で公的サービスが利用できない方へ、社協独自でホームヘルパーが通院など生活の支援を行なった。

(単位:件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホームヘルプサービス	3	2	2	5	6	3	4	6	4	3	2	4	44

(3) 西海市介護予防・日常生活支援総合事業(通所型サービスA)<市受託事業>

事業対象者及び要支援者が、通所により「運動機能向上」「栄養改善」「口腔機能の向上」「閉じこもり予防」「認知症予防」「うつ予防」に効果的な活動を行い、高齢者が要介護状態又は要支援状態になることを予防し、生きがいを持って地域において自立した日常生活を営むことができるよう、保健センター等で心身の機能向上に効果的な支援を行った。

実施内容・・・送迎、血圧測定、体力測定、いきいき百歳体操、講話、趣味活動

◆利用実績

(単位:人)

区分	西海北	西海南	大島	崎戸	江島	平島	合計
実利用者数	10	9	11	9	5	4	48
延べ利用者数	287	376	228	172	205	106	1,374

※令和5年度から、江島において事業を再開した。

(4) 西海市介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型サービスA)<市受託事業>

日常生活の軽易な援助が必要な高齢者に対し、日常的な家事等を行うことで利用者の自立を促し、要介護状態となることを予防し、在宅高齢者の福祉の向上を図った。

◆利用実績

(単位:人)

区分	西彼	西海	大島	崎戸	江島	平島	大瀬戸	合計
実利用者数	2	0	0	0	0	0	0	2
延べ利用者数	6	0	0	0	0	0	0	6

(5) 西海市外出支援サービス事業<市受託事業>

一般の交通機関を利用することが困難な高齢者等に移動用車両で移送サービスを行うことにより、住み慣れた地域で引き続き生活していくことを支援し、在宅福祉の増進を図った。

◆西海市外出支援サービス事業実績

(単位:回)

区分	西 彼	西 海	大 島	崎 戸	大瀬戸	合 計
4月	6	6	4	2	0	18
5月	6	14	6	4	0	30
6月	4	0	2	2	0	8
7月	2	6	4	0	0	12
8月	4	0	0	2	0	6
9月	4	6	6	0	0	16
10月	2	2	2	0	0	6
11月	6	4	6	2	0	18
12月	2	6	0	0	0	8
1月	4	2	0	0	0	6
2月	2	4	0	0	0	6
3月	8	2	0	0	0	10
合 計	50	52	30	12	0	144

(6) 離島地区医療機関送迎サービス事業の実施(崎戸町江島地区)

江島地区の移動手段がない高齢者等を対象に、社協独自で医療機関への通院時の送迎を行い、住み慣れた地域で引き続き生活していくことを支援した。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
回 数	2	2	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	9
実利用者数	2	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	7

(7) 江島・平島地区住民向け自動車貸出事業の実施(崎戸)

江島・平島住民の本土での交通の利便性を高めるため、貸出時間(日中)を限定して無料で軽自動車を貸し出した。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
回 数	1	2	0	2	0	1	0	1	0	0	0	1	8
実利用者数	2	4	0	3	0	1	0	1	0	0	0	2	13

Ⅲ 横瀬保育所の経営

横瀬保育所において、乳児及び幼児の健全な育成と就労者の子育て支援を図るため、就学前乳幼児の保育を行った。

◆各月初日在籍人数(定員50人)

(単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	39	39	39	40	40	40	42	42	44	45	45	46	501
令和4年度	40	41	41	42	43	43	45	47	46	47	49	49	533
前年比(%)	98	95	95	95	93	93	93	89	96	96	92	94	94
令和5年度定員充足率(%)	78	78	78	80	80	80	84	84	88	90	90	92	83.5

◆地域団体・施設・住民との交流事業

子どもにとってより良い保育環境を確保する為に、保育所、家庭、地域が一体となり相互の連携を強化し、質の高い保育を提供した。

◆毎月の行事・身体測定、災害安全訓練、誕生会、食育、健康集会、交通安全教室(年6回)

月	内容
4月	入園式、歯科健診
5月	内科健診、親子遠足(メルヘン村)、個人面談
6月	親子ふれ合い参観
7月	夏祭り
8月	保育参観
9月	運動会、秋の遠足、移動動物園、横瀬東郷民運動会、横瀬西郷民運動会、
10月	秋の遠足、移動動物園、芋ほり、横瀬浮立、横瀬西奉納相撲
11月	せんだんまつり、秋の内科健診、七五三参拝、
12月	マラソン大会、もちつき会、クリスマス会
2月	お遊戯会
3月	ひな祭り会、巡回人形劇、お別れ会、卒園式、面高敬老会、修了式

IV 介護系事業の展開

3か年経営改善計画を作成し介護系事業の抜本的な改革を目指し実行中である。令和5年度は収支の改善とサービスの質の向上（自立支援への取組）に重点を置き事業を展開した。いくつかの新しい取組にチャレンジしているもののまだ結果に結びついていない状況であり、道半ばである。

1. 介護保険法に基づく事業の実施

介護や支援が必要な利用者に対して、適切な介護サービスの運営及びサービス提供を行っている。サービス提供の際は、法令を遵守し、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場を優先するものとともに、利用者の家族の身体及び精神的負担の軽減を図れるよう取り組んだ。

(1) 居宅介護支援事業（予防居宅介護支援事業）

上半期は7人（常勤6・パート1）、下半期は6人（常勤5・パート1）の介護支援専門員を配置し、要介護認定の申請代行や居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、給付管理業務、住宅改修手続き、サービス事業者との連絡・調整等を行った。

◆居宅介護支援計画件数（単位：件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
介護	202	194	191	192	194	190	201	204	202	199	196	185	2,350	195.8
予防	5	5	5	5	5	6	7	7	6	6	6	7	70	6

◆令和4年度との比較（単位：件）

区分	延べ件数	
	介護	予防
令和5年度	2,350	70
令和4年度	2,406	57
増減	-56	13
前年比(%)	97.7%	122.8%

(2) 訪問介護事業（介護予防事業・日常生活支援総合事業訪問介護事業）

介護や支援を要する高齢者等に訪問介護員を派遣し、サービス内容は食事のお世話、衣類の洗濯及び補修などの生活援助、入浴や排泄、移動の介助などの身体介護、医療機関等との連絡及び通院介助等を行っている。経営面（障がいヘルパーを含む。）では、事業所の統合による経費削減や人員配置の見直しにより、前年度の対し赤字額を約470万円改善したが、当初目標だった赤字額半減を達成することはできなかった。

◆訪問介護利用者件数（単位：件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
介護	107	112	110	103	103	104	107	112	110	108	105	100	1,281	107
総合	46	52	46	48	43	41	44	48	48	49	47	47	559	47

◆訪問介護延べ訪問回数(単位:回)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
回数	1,342	1,491	1,409	1,303	1,215	1,323	8,083
介護	1,111	1,201	1,159	1,056	991	1,117	6,635
総合	231	290	250	247	224	206	1,448

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計	平均
回数	1,321	1,408	1,436	1,331	1,284	1,302	8,082	16,165	1,347
介護	1,101	1,165	1,180	1,079	1,023	1,058	6,606	13,241	1,103
総合	220	243	256	252	261	244	1,476	2,924	244

◆令和4年度との比較

区分	利用者件数(単位:人)	
	介護	総合
令和5年度	1,281	559
令和4年度	1,386	654
増減	-105	-95
前年比(%)	92.4	85.5

区分	延べ訪問回数(単位:回)	
	介護	総合
令和5年度	13,241	2,924
令和4年度	14,849	3,556
増減	-1,608	-632
前年比(%)	89.2	82.2

※令和4年度の数字は、旧5事業所(さいかい、おおさき、えのしま、ひらしま、おおせと)の合計

(3) 通所介護事業(介護予防事業・日常生活支援総合事業通所介護事業)

介護や支援を要する在宅の高齢者や障がいのある方がデイサービスセンターに通所し、健康チェック、昼食、入浴、レクリエーション等の活動を通して日常生活能力と社会性維持向上を図り、併せて家族の介護負担を軽減して継続的な在宅生活を支援した。今年度は黒字化を目標に、利用者獲得に向けて年度後半から歩行分析AI「トルト」の導入(せいひ、おおさき)やあん摩マッサージ師の雇用(おおせと)など事業所の特色づくりを行い経営改善に取り組んだが、利用者の安定した確保には至らず前年度よりも収支状況は大きく悪化した。

◆通所介護利用者件数(単位:件)

区分	せいひ		さいかい		おおさき		えのしま		ひらしま		おおせと		合計	
	介護	総合	介護	総合	介護	総合	介護	総合	介護	総合	介護	総合	介護	総合
4月	34	13	30	20	34	7	0	1	2	2	31	6	131	49
5月	33	15	31	19	32	8	0	1	2	2	30	6	128	51
6月	30	15	33	20	32	7	0	1	2	3	27	6	124	52

区分	せいひ		さいかい		おおさき		えのしま		ひらしま		おおせと		合計	
	介護	総合	介護	総合	介護	総合	介護	総合	介護	総合	介護	総合	介護	総合
7月	31	15	31	20	31	6	0	1	2	3	26	6	121	51
8月	30	15	30	19	31	6	0	1	2	4	27	6	120	51
9月	29	14	30	19	31	5	0	1	2	3	28	6	120	48
10月	30	12	30	18	35	5	0	1	3	3	28	6	126	45
11月	31	13	33	17	36	5	0	1	3	1	27	6	130	43
12月	28	14	31	14	36	6	0	1	2	2	25	6	122	43
1月	27	13	28	13	37	6	0	1	1	2	25	6	118	41
2月	27	14	25	15	35	7	0	1	1	2	22	6	110	45
3月	27	14	26	16	33	7	0	1	1	2	21	7	108	47
合計	357	167	358	210	403	75	0	12	23	29	317	73	1,458	566
平均	29.8	13.9	29.8	17.5	33.6	6.3	0.0	1.0	1.9	2.4	26.4	6.1	121.5	47.2

◆通所介護延べ利用者数

(単位:人)

区分	せいひ		さいかい		おおさき		えのしま		ひらしま		おおせと		合計	
	介護	総合	介護	総合	介護	総合	介護	総合	介護	総合	介護	総合	介護	総合
4月	282	90	309	103	342	34	0	4	21	8	304	37	1,258	276
5月	310	117	350	112	363	41	0	5	22	8	327	35	1,372	318
6月	268	122	352	100	322	32	0	4	26	12	284	40	1,252	310
7月	244	110	341	105	337	32	0	4	21	12	248	33	1,191	296
8月	220	87	335	93	305	28	0	4	14	13	271	37	1,145	262
9月	267	92	336	102	302	29	0	5	24	12	266	37	1,195	277
10月	283	79	322	104	347	31	0	4	30	9	240	37	1,222	264
11月	281	86	332	83	317	26	0	5	25	5	252	36	1,207	241
12月	243	88	304	79	352	28	0	4	14	6	245	43	1,158	248
1月	236	80	281	72	315	25	0	4	8	6	209	37	1,049	224
2月	247	96	254	79	332	31	0	4	9	8	187	40	1,029	258
3月	248	90	268	81	349	32	0	5	8	7	171	43	1,044	258
計	3,129	1,137	3,784	1,113	3,983	369	0	52	222	106	3,004	455	14,122	3,232
合計	4,266		4,897		4,352		52		328		3,459			
1日平均	13.7		15.7		13.9		0.2		1.1		11.1			

<新型コロナウイルスの影響での自主休所(職員不足による)>

事業所	期間
おおせとデイサービスセンター	7月26日～27日

◆令和4年度との比較

(単位:人)

利用者件数		せいひ	さいかい	おおさき	えのしま	ひらしま	おおせと	合計
介護	令和5年度	357	358	403	0	23	317	1,458
	令和4年度	405	406	443	7	36	311	1,608
	増減	-48	-48	-40	-7	-13	6	-150
	前年比(%)	88	88	91	0	64	102	91
総合	令和5年度	167	210	75	12	29	73	566
	令和4年度	183	216	121	24	43	106	693
	増減	-16	-6	-46	-12	-14	-33	-127
	前年比(%)	91	97	62	50	67	69	82

延べ利用者数		せいひ	さいかい	おおさき	えのしま	ひらしま	おおせと	合計
介護	令和5年度	3,129	3,784	3,983	0	222	3,004	14,122
	令和4年度	3,800	4,054	4,579	65	385	3,062	15,945
	増減	-671	-270	-596	-65	-163	-58	-1,823
	前年比(%)	82.3	93.3	87.0	0.0	57.7	98.1	88.6
総合	令和5年度	1,137	1,113	369	52	106	455	3,232
	令和4年度	1,157	1,150	567	100	167	647	3,788
	増減	-20	-37	-198	-48	-61	-192	-556
	前年比(%)	98.3	96.8	65.1	52.0	63.5	70.3	85.3

(4) 西海市しまの介護サービス確保事業(大瀬戸)

江島・平島・松島地区の介護サービス確保のために、西海市より訪問介護サービスは介護報酬に対して15%の加算及び渡航費用、居宅介護支援事業では渡航費用の補助(松島のみ)を受けた。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	9人	9人	7人	7人	8人	8人	8人	9人	5人	6人	7人	9人	92人
居宅	0回	2回	3回	1回	1回	2回	2回	2回	1回	2回	1回	1回	18回

2. 障害者総合支援法に基づく事業の実施

(1) 居宅介護事業（ホームヘルプ）【障害者総合支援法】

障がいのある方が居宅において自立した日常生活、または社会生活を営むことができるよう、入浴、排泄及び食事等の介護、調理等の家事、並びに生活等に関する相談及び助言、そのほか生活全般にわたる援助を行った。居宅介護事業、同行援護事業、重度訪問介護事業を実施しているが、現在のところ重度訪問介護事業の利用者はいない。

◆居宅介護事業・同行援護事業利用者件数および延べ利用者数（単位：件、人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者件数	27	27	28	28	29	29	30	30	30	29	28	29	344	28.7
延べ利用者数	216	204	267	248	243	246	251	233	217	204	213	263	2,805	233.75

◆令和4年度との比較（単位：人）

令和5年度	2,805
令和4年度	2,580
増減	225
前年比(%)	109%

※訪問介護（介護保険+障がい福祉サービス）延べ訪問回数（単位：回）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
介護保険	1,342	1,491	1,409	1,303	1,215	1,323	8,083
障がい	216	204	267	248	243	246	1,424
計	1,558	1,695	1,676	1,551	1,458	1,569	9,507

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計	平均
介護保険	1,321	1,408	1,436	1,331	1,284	1,302	8,082	16,165	1,347
障がい	251	233	217	204	213	263	1,381	2,805	234
計	1,572	1,641	1,653	1,535	1,497	1,565	9,463	18,970	1,581

V 指定管理事業の健全な経営・推進

西彼保健福祉センター「遊湯館」は令和2年度から令和6年度までの5年間、その他の指定管理施設は、令和3年度から令和7年度までの5年継続協定を結び、経営を含めた管理運営に努めた。

(1) 西海市西彼保健福祉センター「遊湯館」

神経痛や筋肉痛に効果があるナトリウム泉の入浴設備と研修室があり、毎月第1日曜日と1月1日を除いて開館し、市内外の方の憩いの場になっている。

◆年間入浴施設利用者数

区分	開館日数	令和5年度	令和4年度	前年比	1日平均
4月	29日	3,872人	3,395人	114.1%	134人
5月	30日	4,004人	3,997人	100.2%	133人
6月	29日	3,321人	2,971人	111.8%	115人
7月	29日	3,338人	2,814人	118.6%	115人
8月	27日	2,983人	2,510人	118.8%	110人
9月	29日	3,359人	2,408人	139.5%	116人
10月	28日	3,647人	3,533人	103.2%	130人
11月	27日	3,494人	3,399人	102.8%	129人
12月	29日	3,935人	3,916人	100.5%	136人
1月	28日	4,368人	3,841人	113.7%	156人
2月	24日	3,393人	3,698人	91.8%	141人
3月	26日	3,731人	4,022人	92.8%	144人
合計	335日	43,445人	40,504人	107.3%	130人
平均		3,620人	3,375人	107.3%	

(2) 西海市立大島児童館

児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、または情操を豊かにするとともに児童の福祉向上を図り健全育成に努めた。

区分	開設日数	幼児数	児童数	育成団体参加者数	合計	1日平均
4月	24日	119人	21人	25人	165人	6.9人
5月	24日	103人	21人	28人	152人	6.3人
6月	26日	146人	19人	13人	178人	6.8人
7月	25日	120人	19人	11人	150人	6.0人
8月	22日	96人	20人	0人	116人	5.3人
9月	24日	149人	25人	27人	201人	8.4人

区 分	開設日数	幼児数	児童数	育成団体 参加者数	合計	1日平均
10月	25日	231人	7人	13人	251人	10.0人
11月	24日	184人	6人	23人	213人	8.9人
12月	24日	122人	5人	9人	136人	5.7人
1月	23日	139人	24人	5人	168人	7.3人
2月	23日	175人	12人	29人	216人	9.4人
3月	25日	143人	19人	22人	184人	7.4人
合 計	289日	1,727人	198人	205人	2,130人	7.4人

(3) 西海市黒口ふれあいの館

60歳以上の高齢者で共同生活できる方を対象に、日常生活を健康で安心して送れるように支援した。

◆令和6年3月末の入居状況

施 設 名	定 員	入居者数
西海市黒口ふれあいの館	6人	5人

(4) 西海市中浦すこやかセンター

西彼、西海、大瀬戸地区の配食事業の拠点として利用した。

(5) 西海市大島配食サービスセンター

大島及び崎戸地区の配食事業の拠点として利用した。

(6) 西海市江島デイサービスセンター

介護保険事業の拠点(通所介護、訪問介護)として利用した。

(7) 西海市平島デイサービスセンター

介護保険事業の拠点(通所介護、訪問介護)と配食事業の拠点として利用した。

(8) 西海市大瀬戸デイサービスセンター

介護保険事業の拠点(通所介護)として利用した。

(9) 西海市大瀬戸社会福祉センター

鉱泉の入浴設備と屋根付きゲートボール場を活用して、年末年始・盆・祝日と月曜日を除く朝から夜まで、市内外の方に健康づくりの機会を提供した。また季節に応じてしょうぶ湯やゆず湯などを実施し、好評を得た。※令和5年8月9日・10日は台風接近の為休館(10日は15時から開館)した。

◆年間利用者数(無料入館者含む)

区分	開館日数	令和5年度	令和4年度	前年比	1日平均
4月	25日	1,384人	1,208人	114.6%	55人
5月	23日	1,214人	1,126人	107.8%	53人
6月	26日	1,213人	1,174人	103.3%	47人
7月	26日	1,177人	1,188人	99.1%	45人
8月	24日	1,081人	867人	124.7%	45人
9月	25日	1,108人	950人	116.6%	44人
10月	26日	1,335人	1,159人	115.2%	51人
11月	24日	1,351人	1,185人	114.0%	56人
12月	25日	1,461人	1,290人	113.3%	58人
1月	25日	1,429人	1,384人	103.3%	57人
2月	23日	1,370人	1,397人	98.1%	60人
3月	26日	1,586人	1,460人	108.6%	61人
合計	298日	15,709人	14,388人	109.2%	53人
平均		1,309人	1,199人	109.2%	

(10) 西海市西海高齢者生活支援ハウス及び西海市高齢者コミュニティセンター「くろくち荘」

高齢者生活支援ハウスはひとり暮らしの高齢者等に対し、介護支援機能、居住機能及び交流機能等を総合的に提供するを目的に運営し、安心して健康で明るい生活を送れるよう支援して高齢者の福祉の増進を図った。また、西海市高齢者コミュニティセンター「くろくち荘」は、改修工事のため1年間使用を休止した。

◆令和6年3月末の入居状況

施設名	定員	入居者数
西海市西海高齢者生活支援ハウス	6人	3人

(11) 西海市崎戸高齢者生活支援ハウス

ひとり暮らしの高齢者等に対し、介護支援機能、居住機能及び交流機能等を総合的に提供する高齢者生活支援ハウスを運営することにより、安心して健康で明るい生活を送れるよう支援して高齢者の福祉の増進を図った。

◆令和6年3月末の入居状況

施設名	定員	入居者数
西海市崎戸高齢者生活支援ハウス(ゆうばえ荘)	10人	3人

VII 収益事業の安定的経営

市民への利便性の供与と本会が行う社会福祉事業への収益充当を目的に、マイクロバス、ワゴン車、軽リフト車、車椅子対応車の計4台でレンタカー事業を行った。新型コロナウイルス感染症の行動制限減の解除等もあり、前年度と比較して利用日数においては約2倍近くに増加し、コロナ前の貸渡日数と同数程度まで回復した。

(1) レンタカー事業のPR活動(広報誌・ウェブサイト)

(2) 車両整備の徹底

◆令和5年度レンタカー貸渡実績

(単位:回)

区分	車両の種類	令和5年度	令和4年度	回数比	貸渡日数
4月	マイクロバス(25人乗り)	4	1	3	4日
	ワゴン車(10人乗り)	4	4	0	4日
	軽リフト車・車椅子対応車	1	0	1	1日
5月	マイクロバス(25人乗り)	7	1	6	7日
	ワゴン車(10人乗り)	7	1	6	7日
	軽リフト車・車椅子対応車	1	0	1	1日
6月	マイクロバス(25人乗り)	4	5	-1	4日
	ワゴン車(10人乗り)	5	3	2	5日
	軽リフト車・車椅子対応車	0	0	0	0日
7月	マイクロバス(25人乗り)	3	4	-1	3日
	ワゴン車(10人乗り)	4	2	2	4日
	軽リフト車・車椅子対応車	2	0	2	2日
8月	マイクロバス(25人乗り)	4	0	4	4日
	ワゴン車(10人乗り)	5	4	1	5日
	軽リフト車・車椅子対応車	2	1	1	2日
9月	マイクロバス(25人乗り)	5	1	4	5日
	ワゴン車(10人乗り)	0	0	0	0日
	軽リフト車・車椅子対応車	0	0	0	0日
10月	マイクロバス(25人乗り)	9	7	2	9日
	ワゴン車(10人乗り)	14	4	10	14日
	軽リフト車・車椅子対応車	2	1	1	2日
11月	マイクロバス(25人乗り)	17	9	8	17日
	ワゴン車(10人乗り)	3	6	-3	3日
	軽リフト車・車椅子対応車	0	1	-1	0日
12月	マイクロバス(25人乗り)	15	1	14	15日
	ワゴン車(10人乗り)	6	3	3	6日
	軽リフト車・車椅子対応車	0	0	0	0日

区分	車両の種類	令和5年度	令和4年度	回数比	貸渡日数
1月	マイクロバス(25人乗り)	8	2	6	8日
	ワゴン車(10人乗り)	8	6	2	8日
	軽リフト車・車椅子対応車	1	1	0	1日
2月	マイクロバス(25人乗り)	8	3	5	8日
	ワゴン車(10人乗り)	6	4	2	6日
	軽リフト車・車椅子対応車	5	1	4	5日
3月	マイクロバス(25人乗り)	6	7	-1	6日
	ワゴン車(10人乗り)	1	7	-6	1日
	軽リフト車・車椅子対応車	2	2	0	2日
小計	マイクロバス(25人乗り)	90	41	49	90日
	ワゴン車(10人乗り)	63	44	19	63日
	軽リフト車・車椅子対応車	16	7	9	16日
合計		169	92	77	169日

◆令和4年度との比較(単位:回)

車両の種類	令和5年度	令和4年度	前年比
マイクロバス(25人乗り)	90	41	219.5%
ワゴン車(10人乗り)	63	44	143.2%
軽リフト車・車椅子対応車	16	7	228.6%
貸渡合計	169	92	183.7%

付属明細書なし